

特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、熊本県菊池市が発注する下記工事に適用する。

- 1) 工事番号 令8公下起単第2号
- 2) 工事箇所 菊池市北宮他地内
- 3) 工 事 名 令和8年度 国道325号汚水幹線移設工事
- 4) 工 期 契約日の翌日から令和9年9月30日まで

第2条 本工事における遵守事項および特記事項について

- ・熊本県が施工する国道325号の盛土工事の完了後に本市下水道課が工事を行うもので、新設管のみの設置を令和9年3月までに施工すること。また、国道325号の工事スケジュールの関係から工事期間を令和9年9月30日までとする。
- ・本工事は、熊本県が発注する国道325号道路改築工事区域内での施工となるため県工事受注者と工程の調整を行い着工すること。
- ・工事計画と仮設計画を確認した上で工事に着手すること。
- ・近隣の商業施設や住民に対して仮設計画などの説明を行うこと。

第3条 工事数量

本工事における工事数量は、別紙「工事数量総括表」のとおりとする。

なお、数量に変更が生じた場合は、発注者、受注者協議の上、契約変更の対象とすることができる。

第4条 適用基準

本工事施工にあたっては、本仕様書によるほか、一般的な事項については、「熊本県土木工事共通仕様書（平成31年4月）」、「熊本県土木工事施工管理基準（平成31年4月）」「下水道土木工事共通仕様書及び下水道工事施工管理基準」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

また、本工事は、平成28年熊本地震の被災地（熊本県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価を用いた積算試行対象工事である。

第5条 施工条件

1) 安全対策

工事現場は常に整理整頓し、労務災害や第三者に対して事故を起こさないように管理を行い、施工区間においては、締切式バリケード及び転落防止ネット等を常備して事故防止に努めること。

2) その他

1. 工事に先立ち、工事内容・工法・工程及び公害などの防止対策について、住民によく説明すること。

2. 工事の早期着手に努め、着手時にあたっては、完了の日程を各戸毎に予告通知し、交通規制及び仮駐車場（受注者が確保）などの内容の説明

を行い、住民とのトラブル防止に努めること。

3. 工事中の苦情受付体制を整え、住民からの呼びかけには快く応じ、言動に対しては十分注意し、工事責任者は、現場に必ず常駐すること。
4. 工事における家屋等への被害の処置については、原則として請負業者で責任をもって解決すること。
5. 工事現場は常に整理整頓し、労務災害や第三者に対して事故を起こさないように管理を行い、施工区間においては、締切式バリケード及び転落防止ネット等を常備して事故防止に努めること。
6. マンホールの周囲は安定処理等を行い、沈下に対して十分配慮すること。
7. 本工事においては、周辺構造物の取合いなど技術上、外観上、当然施工すべきことは勿論の事、些細部分で一々明記していない事項といえども、自然付帯的工事は全て良心的に完全施工をすること。
8. 竣工後の残務整理においては、地権者と話し合いのうえ後日トラブルを生じないよう、全て解決しておくこと。
9. マンホール蓋については、浮上防止型（ロック式）の菊池市型デザイン蓋を使用すること。
10. 建込簡易土留工法で施工する場合は、共通仕様書（一般仕様書）及び追記を遵守しなければならない。
11. 機械による締め固めについては、管基礎及び管上30cm 迄は、人力及び小型締め固め機械により締め固め、その上については、30cm 毎にタンパにより転圧すること。
12. 掘削、床掘完了時の現場状況写真及び、出来形確認写真を添付すること。（高さ、幅等の管理）
13. 管布設時における、レベルチェック（市監督員）状況写真を添付すること。
14. 建設廃棄物処理実施計画書及び添付書類を提出し、必ず市の承認をうけること。
残土処理（発生土及び産業廃棄物）状況写真を添付する。又、産業廃棄物については中間処理施設での処分とし、マニフェスト伝票A票、建設廃材処理実績集計表を速やかに監督員に提示すること。
15. ~~発生土に玉石等が混じっている場合は、取除いて埋戻すこと。又、土質的に不適当と思われる場合は、監督員と協議の上、必要に応じて土質試験を行うこと。~~
16. 現場管理上、朝夕の現場チェック（掃除等）を徹底すること。
17. 交通整理員については、交通誘導する場所によって1級並びに2級交通誘導警備検定合格者又は、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置するものとする。
18. 再生材を使用する場合、在庫がない場合には2業者以上の在庫証明を提出すること。
19. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合、「排出ガス対策型建設機械」の使用を義務とし、写真管理を行うこと。未対策型の機械が現場に1台でも使用された場合には全機種が未対策型とみなし、変更減額の対象とする。
※ バックホウ、トラクタショベル（車輪式）、ブルドーザ、発動発電機（可搬式・溶接兼用機を含む）、空気圧縮機（可搬式）、油圧ユニット、ホイールクレーン、ローラ類（ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ）のディーゼルエンジン出力7.5～260kw。
20. 農地の借用については、農地法の摘要を考慮し農業委員会と充分協議すること。
21. 環境保全菊池市役所は、自然環境都市づくりを推進すべく環境保全活動に取り組んでおり、工事現場においても常に環境への影響に配慮した活動を行うこと。（工事現場周辺の清掃、ごみの分別、吸殻入れの設置、工事調書用紙の両面印刷等）
22. 「熊本県電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成された電子データを、エラーが無いこと及びウイルス対策を実施した上で電子媒体で提出すること。なお、電子納品にあたっては、監督職員と協議の上電子化の範囲等を決定するものとする。
23. 山砂、粒調砕石(M-40)、砂利(再生クラッシュラン RC-40)、生コン(18-8-40 高炉)等の建設資材の使用に際しては、合法的に採取された資材をしようするものとし、材料使用願い提出時、採取に係る許可証「採取業者の採石法(第33条認可)、砂利採取法(第16条認可)に基づく許可」

の写しを提出すること。

また、竣工時、岩石等資材出荷証明書を提出すること。

24. 安全訓練については、1ヶ月当たり半日以上実施し、実施状況報告書（写真を含む）を提出すること。
25. 工事着手前は、必ず構造物を調査し点検などを行うこと。
26. 舗装の復旧範囲については、施工を見直す場合があるので、監督員と協議をすること。
27. 建設工事に伴い発生する土砂の搬出場所は、監督員と協議のうえ決定すること。
28. 購入土については、修正 CBR20 以上の土砂で山砂とする。
29. 管渠布設前に平板載荷試験を行い支持地盤の強度を確認すること。確認を行う範囲は、マンホール間で1カ所以上とする。
30. その他、不明瞭な点は、事前に監督員と協議すること。
31. 仮設工については、不断水水替工法にて水替えを行うものとし、施工順序を確認すること。
32. 汚水を切り廻す前には入念に打ち合わせを行い、必要な資材・機械器具などは事前に準備を行ったうえで、汚水の切り廻しに着手すること。
汚水の切り廻しを行った後に資材や機械器具などの調達にかかった日数については、変更の対象としない。
33. 汚水切り廻しの際は、必要な機械器具などは定期的に点検を行うものとする。ポンプの不具合により汚水が溢れた場合を想定し、必要な機械・器具はあらかじめ準備しておくこと。

また、機械・器具周辺には関係者以外のものが容易に立ち入りできないようにバリケード等を設けること。

（追記1） 土留工

- ① 労働安全衛生規則第164条2項、3項及び基発480号並びに基発542号を熟知して施工しなければならない。
- ② バックホウ打撃による建込み作業は行ってはならない。
- ③ 機材の引抜きは締め固め厚さ毎に引抜き、パネル部分の埋戻しと締め固めを充分行い監督員検査を受けるか、又は写真確認が出来るよう管理しなければならない。
- ④ バックホウ建込み作業、又はクレーンによる引抜き作業中は運転者と作業員の連絡をよくするため合図者を置かなければならない。
- ⑤ 土留と土留は必ず接触していなければならない。間隙が生じた場合刺し矢板を行い、安全を確保しなければならない。
- ⑥ 掘削を床付面まで施工して土留を下す施工は、周辺地盤への影響があるので施工してはならない。
- ⑦ 建込簡易土留工は原則レール式とすること。

※ 以下土木工事共通仕様書より

- ① 建て込みは、バックホウにより約1m余掘りした溝内にスライドレールを組立てパネルをはめ込み、掘削と並行して圧入しなければならない。
- ② スピンドルは、水平より±5度の傾斜をこえないようにバランスに注意しながらスライドレールを圧入しなければならない。
- ③ パネル背面に空間が生じた場合は、砂等を入念に充填し、背面土砂の崩壊を防止しなければならない。
- ④ 地下埋設物等の支障物のためパネルスパン間に空間が生じる場合は、土圧等に十分耐えうる土留材により、パネル建込みと並行して土留を行い、土砂の崩壊を防止しなければならない。
- ⑤ スライドレール及びパネルの引抜きはトラッククレーンで行い、引抜き跡の空隙には砂等を入念に充填して地盤の移動及び沈下を防止し、あわせて構築物あるいは埋設物に対する影響を防止しなければならない。

- 1) 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負金額が**100万円以上**の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により作成し、施工計画書と合わせて提出しなければならない。
- 2) 受注者は、建設副産物の発生量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金が**100万円以上**の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をCOBRISにより作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 3) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ（<http://www.recycle.jacic.or.jp>）より、利用申請等を行うことができる。
- 4) 受注者は、再生資源利用（促進）計画書及び実施書を工事完了後1年間保存しなければならない。

第7条 民地借上げ等

工事施工において民地借上げ等を必要とする場合の地元折衝及び補償等は、特に指示しない限り、一切の行為は受注者の責任において処理すること。

第8条 アイドリングストップ

建設機械等のアイドリングストップに努め、その点検を行うこと。ただし、記録表の作成については、不要とする。

第9条 安全・訓練等の実施に関すること。

1) 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し現場に即した安全・訓練等の実施について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月あたり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

記

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - 2) 本工事内容等の周知徹底
 - 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - 4) 本工事における災害対策訓練
 - 5) 本工事現場で予想される事故対策
 - 6) その他、安全・訓練等として必要な事項
- 2) 安全・訓練等に関する施工計画の作成
施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
- 3) 安全・訓練等の実施状況報告
受注者は、安全教育及び安全訓練等の実施状況について、ビデオ等又は工事報告等 に記録した資料を整備・保管し、監督職員の請求があった場合は直ちに提示するものとする。
- 4) 車両系建設機械の用途外使用による事故防止対策についての研修
車両系建設機械の用途外使用に関する安全・訓練等の研修を実施すること。

第10条 土木工事現場における事故防止対策について

工事現場及びその周辺等においては、常に事故防止対策を実施すること。また、各種事故防止研修会等への積極的参加並びに工事現場及び会社内においても事故防止に対する指導を強化すること。

第 11 条 過積載防止

- 1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 2) さし枠の装着等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 3) 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- 4) 取引関係のあるダンプトラック業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に 不正状態を解消する措置を講じること。
- 5) 建設発生土の処理及び資材の購入等にあっては下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することがないようにすること。
- 6) 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分指導すること。

第 12 条 工事支障物件等

工事着手前に N T T ケーブル（光ケーブルを含む）、電力管、上水道管等の埋設物及び電力線及び電話線等架空占用物件の有無を各施設管理者に確認し、施工方法等について各施設管理者と協議すること。重機の巡回範囲内に支障となる電力線、電話線等架空占用物件がある場合も同様とする。

第 13 条 建設工事に係る産業廃棄物の処理

型枠の端材、塗料の空缶等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、元請業者の責任において適正に処理すること。

第 14 条 舗装切断時に発生する排水の処理について

- 1) 舗装切断時に発生する排水は、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。
- 2) 受注者（元請）が当該排水を運搬する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物運搬車両の表示と廃棄物の種類・運搬先等必要事項を記載した書面（マニフェスト）を携行すること。
- 3) 受注者は、当該排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）を、監督員に提示するとともに、「産業廃棄物処理確認票（集計表）」を提出すること。
- 4) 受注者は、当該排水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、当該排水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、適正な運搬・処理を実施することとし、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を、監督員に提示するとともに、「産業廃棄物処理確認票（集計表）」を提出すること。

第 15 条 産業廃棄物管理等（マニフェスト伝票）について

受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確認するとともに監督職員に提示（※マニフェスト伝票のコピーについては、提出不用）しなければならない。

第 16 条 コリنز（CORINS）への登録

受注者は、工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、受注・変更・完成・訂正 時に工事实績情報システム（CORINS）に工事实績情報を登録しなければならない。登録にあたっては、事前に登録内容について監督職員の確認を受けなければならない。なお、受注時は契約後、土曜日、日

曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後（工事 完成通知書（しゅん工届）の提出日をいう。）、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、すみやかに監督 職員に提示しなければならない。なお、変更時と工事完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

第 17 条 現場技術者等の腕章の着用について

1) 目 的

現場内における責任の自覚と意識の高揚並びに現場作業員及び一般住民から見た責任者の明確化を目的として実施する。

2) 対象者

現場代理人及び監理技術者又は主任技術者

3) 腕章の仕様

仕様は、監督員と協議するものとする。着用箇所は、腕の見やすいところを原則とする。なお、腕章の他にも名札も着用することが望ましい。

第 18 条 電子納品に関する留意事項

「熊本県電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成された電子データを、エラーが無いこと及びウイルス対策を実施した上で電子媒体で提出すること。なお、電子納品にあたっては、監督職員と協議の上電子化の範囲等を決定するものとする。

第 19 条 資材及び企業の優先仕様

菊池市で発注する工事は、菊池市の予算で行うことを考慮し、工事資材の発注等については、可能な限り菊池市内での調達（関係業者との取引）すること。また、常勤・臨時職員に限らず、可能な限り菊池市内から雇用すること。さらに、下請発注についても菊池市内から発注に努めること。

第 20 条 成績評定の公表

菊池市請負工事成績評定要領（平成 30 年 4 月 1 日）で成績評定をおこなった場合は、「工事成績（修正）評定通知書」及び「項目別評定点」を通知するものとする。

第 21 条 週休 2 日工事

本工事は、週休 2 日工事の対象工事であり、菊池市週休 2 日工事実施要綱（令和 4 年告示第 257 号）に基づき取り組むこととする。

入札公告に示した予定価格は、4 週 8 休の実施による補正を行った金額である。

なお、施工後に休日の達成状況を確認後、4 週 8 休に満たない場合は、その達成状況に応じて補正係数を見直し、請負代金を減額変更するものとする。

第 22 条 その他

- 1) 工事期間中の施工方法、安全管理等には細心の注意を図り施工すること。
- 2) 建設業法第40条に基づき、工事現場毎に「建設業の許可票」「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」「労災保険関係」を掲示し、工事中標識設置届に現場掲示写真を貼付し提出すること。
- 3) 公共事業労務費調査に選定された場合は、協力をお願いする。
- 4) 監督職員との報告・協議等は、書面により行うこととする。また、施工計画書に「報告・協議は書面で行う」旨を記載すること。
- 5) 地元住民等の苦情・要望等には誠意もって対応するとともに、内容について監督職員に報告・協議すること。また記録をしておくこと。
- 6) 受注者に対する暴力団等による不当介入の排除
暴力団等又は暴力団等関係者から不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けたときは、次に掲げる事項を遵守すること。なお、遵守していないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行う。
 - (1) 不当介入を受けた場合は、毅然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに警察に通報するとともに捜査上必要な協力を行うこと。
 - (2) 警察に通報等を行った内容について書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と協議をすること。

令和8年度 国道325号污水幹線移設工事



位置図

数 量 総 括 表

本線FRPM ϕ 900

数量総括表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
管きよ工	(管径900mm)						
	管路土工			式	1		
		機械掘削	BH0.80m3	m3	1258		FRPM 数量計算表+RS 数量計算書
		機械埋戻し(管保護砂)	山砂 BH0.80m3	m3	298		〃
		埋戻し	購入土 BH0.80m3	m3	693		〃
		残土処理	L= 2.0 km	m3	1258		〃
	管布設工			式	1		
		強化プラスチック複合管(FRPM)	φ 900、外圧2種、L=4000mm	本	50		FRPM 数量計算表
		〃	φ 900、外圧2種、L=3000mm	本	1		〃
		〃	φ 900、外圧2種、L=2000mm	本	6		〃
		〃	φ 900、外圧2種、L=1500mm	本	4		〃
		〃	φ 900、外圧2種、調整管	本	5		〃
		FRPM短管(挿し口)	φ 900、外圧2種、L=1000mm/個	個	5		〃
		FRPM短管(受け口)	φ 900、外圧2種、L=1000mm/個	個	4		〃
		〃	φ 900、外圧2種、L=1500mm/個	個	1		〃
		推進用レジンコンクリート管	φ 300 標準管 L=1.0m/本	本	1		RS 数量計算書

数量総括表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		管布設工	強化プラスチック複合管 φ 900mm	m	240		FRPM 数量計算表
		管布設工	推進用レジンコンクリート管 φ 300mm	m	1.0		RS 数量計算書
		マンホール可とう継手取付工	耐震性可とう継手 ヒューム管(HP) φ 900mm用	箇所	1		FRPM 数量計算表
		マンホール可とう継手取付工	耐震性可とう継手 ヒューム管(HP) φ 300mm用	箇所	1		RS 数量計算書
		埋設標識シート	W15cmダブル	m	241		FRPM 数量計算表+RS 数量計算書
	管基礎工			式	1		
		砂基礎	90° 砂基礎 (A)	m3	82		FRPM 数量計算表
		砂基礎	360° 砂基礎	m3	0.4		RS 数量計算書
	土留め工			式	1		
		建込簡易土留め	H=2.5m	m	50		FRPM 数量計算表
		建込簡易土留め	H=3.0m	m	75		FRPM 数量計算表+RS 数量計算書
		建込簡易土留め	H=3.5m	m	118		FRPM 数量計算表
		建込簡易土留め	H=4.0m	m	6.8		〃
		建込簡易土留め賃料	H=2.0m	m2	120		幹線付帯工,支線本管・付帯工分 供用日数37日
		建込簡易土留め賃料	H=2.5m	m2	150		枝線本管分 供用日数23日
		建込簡易土留め賃料	H=3.0m	m2	180		幹線本管・付帯工,支線本管分 供用日数61日

数量総括表

工事名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事業区分		
工種	種別	細別	規格・寸法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適要
		建込簡易土留め賃料	H=3.5m	m2	210		幹線本管分 供用日数46日
		建込簡易土留め賃料	H=4.0m	m2	54		幹線本管分 供用日数3日
マンホール工							
	組立2号マンホール工			箇所	3		
		マンホール蓋・受枠	浮上防止型・かぎ付 H=110、T-14	組	3		2号マンホール 組合せ表
		転落防止梯子		個	3		〃
		調整金具	t=25mmまで	組	2		〃
		調整金具	t=45mmまで	組	1		2号マンホール 組合せ表
		調整リング	600× H=100	個	3		〃
		斜壁	900／600× H=300	個	2		〃
		斜壁	900／600× H=450	個	1		〃
		直壁	900× H= 300	個	2		〃
		直壁	900× H=1200	個	1		〃
		中間斜壁	1200／900× H=300	個	3		〃
		直壁	1200× H=1500	個	1		〃
		躯体ブロック	1200× H= 1800	個	2		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		底版	1200用 H=150	個	3		〃
		組立マンホール設置工	4.0m以下	箇所	3		〃
		削孔	φ 900用	箇所	3		〃
		削孔	φ 300用	箇所	1		〃
		底部工		式	1		2号組立マンホール底部工
		<底部工一式当り数量>					
		基礎碎石	RC-40, t=20cm	m3	1.8		材料のみ (手間はマンホール設置に含む)
		インバートコンクリート	小型構造物 18N/mm2	m3	1.6		
		モルタル上塗り工	配合1:2, 厚さ2cm	m2	5.3		
		<外副管一式当り数量>					
		副管取付工	1.0m以上1.5m未満	箇所	1		副管取付工計算書
		副管用支管	φ 900×300	個	1		
		カラー継手	φ 300	個	1		
		ブレーンエンド直管	φ 300	本	0.11		0.44/4.00
		90° 曲管	φ 300	個	1		
		基礎碎石	RC-40, t=20cm	m2	0.3		

数量総括表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		コンクリート	小型構造物 18N/mm2	m3	0.5		
		型枠	小型構造物 I	m2	3.8		
	組立4号マンホール工			箇所	2		
		マンホール蓋・受枠	浮上防止型・かぎ付 H=110、T-25	組	1		4号マンホール 組合せ表
		マンホール蓋・受枠	浮上防止型・かぎ付 H=110、T-14	組	1		〃
		転落防止梯子		個	2		〃
		調整金具	t=25mmまで	組	2		〃
		調整リング	600× H=100	個	2		〃
		調整リング	600× H=150	個	1		〃
		斜壁	900／600× H=600	個	2		〃
		直壁	900× H=1200	個	2		〃
		中間斜壁	1800／900× H=300	個	2		〃
		躯体ブロック	1800× H= 1800	個	2		〃
		底版	1800用 H=250	個	2		〃
		組立マンホール設置工	4.0m以下	箇所	2		〃
		削工	φ 900用	箇所	2		〃

数量総括表

工事名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事業区分		
工種	種別	細別	規格・寸法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適要
		底部工		式	1		〃
		<底部工一式当り数量>					
		基礎砕石	RC-40, t=20cm	m3	1.7		材料のみ (手間はマンホール設置に含む)
		インバートコンクリート	小型構造物 18N/mm2	m3	3.1		
		モルタル上塗り工	配合1:2, 厚さ2cm	m2	6.9		
	特殊マンホール工			箇所	1		
		マンホール蓋・受枠	浮上防止型・かぎ付 H=110、T-25	組	1		特殊マンホール 組合せ表
		調整金具	t=45mmまで	組	1		〃
		調整リング	600× H=100	個	1		〃
		頂版	1800／600× H=300	個	1		〃
		躯体ブロック	1800× H=600	個	1		〃
		基礎ブロック	1800× H=1200	個	1		〃
		組立マンホール設置工	3.0m以下	箇所	1		〃
		削工	φ 900用	箇所	1		〃
		底部工		式	1		〃
		<底部工一式当り数量>					

数量総括表

工事名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事業区分		
工種	種別	細別	規格・寸法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適要
		基礎砕石	RC-40, t=20cm	m3	1.3		材料のみ (手間はマンホール設置に含む)
		インバートコンクリート	小型構造物 18N/mm2	m3	1.6		
		モルタル上塗り工	配合1:2, 厚さ2cm	m2	4.2		
污水枳及び取付管工							
	ます設置工	ます(塩ビ製 ◎200)	H>1.5m	箇所	7		污水枳及び取付管数量計算表
		公共ます	100×150-200	個	7		〃
		塩化ビニル管(VU)	立管 φ 200	m	13		〃
		塩化ビニル管(VU)	ブレンエント [※] 直管 φ 200、L=4000mm	本	3		〃
		塩ビ蓋	T-2荷重対応	個	1		〃
		鋳鉄蓋	T-8荷重対応	個	6		〃
		内蓋	φ 200用	個	6		〃
	取付管布設工						
		取付管布設及び支管取付工	5箇所以上 L<3m	箇所	7		平均長L=3.3m 污水枳及び取付管数量計算表
		90度可とう支管	900×150	個	7		〃
		自在曲管	VU φ 150	個	7		〃
		カラー継手	VU φ 150用	個	7		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
	作業土工	機械掘削		m3	13		〃
		埋戻し(管保護砂)	山砂	m3	3.4		〃
		埋戻し	購入土	m3	9.7		〃
		残土処理	L= 2.0 km	m3	13		〃
	土留め工			式	1		
		軽量鋼矢板	H=2.0m 1段支保	m	0.8		污水榦及び取付管土工計算書
		軽量鋼矢板	H=2.0m 2段支保	m	1.1		〃
		軽量鋼矢板	H=2.5m 2段支保	m	3.3		〃
付帯工							
	作業土工	機械掘削	BH0.80m3	m3	317		付帯工数量集計表
		機械埋戻し	購入土 BH0.80m3	m3	313		〃
	土留工	建込簡易土留め	H=2.0m	m	5.9		〃
		建込簡易土留め	H=3.0m	m	67		〃
		建込簡易土留め賃料	H=2.0m	m2	—		本管φ900で計上
		建込簡易土留め賃料	H=3.0m	m2	—		本管φ900で計上
	既設閉塞工	モルタル充填	エアモルタル	m3	114		付帯工数量集計表

数量総括表

工事名		令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事業区分		
工種	種別	細別	規格・寸法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適	要
	構造物取壊し工	コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート	m3	30		〃	
		コンクリート取壊し	無筋コンクリート	m3	24		〃	
		殻運搬処理	鉄筋コンクリート	m3	30		〃	
		殻運搬処理	無筋コンクリート殻	m3	24		〃	
		殻処分費	鉄筋コンクリート	t	75		〃	
		殻処分費	無筋コンクリート殻	t	55		〃	
	コンクリート基礎復旧工	コンクリート	18N/mm	m3	0.3		〃	
		型枠		m2	1.6		〃	
		基礎碎石	RC-40 t=20cm	m2	1.1		〃	
		基面整正		m2	1.1		〃	
	路面覆工	覆工板・覆工板受桁設置撤去工	A≦100m2以下	m2	225		〃	
		覆工板賃料	補強型 鋼製すべり止め	m2	84		〃	
		鋼材賃料	桁材	t	9.2		〃	
		鋼材運搬	搬入	t	74.335		建込簡易土留,ライナープレート,路面覆工分 〃	
		鋼材運搬	搬出	t	69.629		建込簡易土留,ライナープレート,路面覆工分 〃	
仮設工								

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
	作業土工	機械掘削	BH0.80m3	m3	139		仮設工数量集計表
		機械埋戻し	保護砂 BH0.80m3	m3	66		〃
		機械埋戻し	保護砂 BH0.80m3	m3	23		〃
		残土処理		m3	129		〃
	管基礎工	砂基礎		m3	3.4		〃
	土留工	矩形ライナープレート設置	3206×4619 t=2.7mm	m	4.0		〃
		ライナープレート撤去	t=2.7mm	m	1.0		〃
		ライナープレート全損	t=2.7mm	m	3.0		〃
		グラウト工		m3	5.8		〃
		基礎コンクリート	$\sigma k=18N/mm^2$	m3	4.3		〃
		鏡 切 工		m	9.5		〃
	仮設管布設工	硬質塩化ビニル管	VU ϕ 150 TS受口 L=4000mm	本	32		〃
		TSフランジ-差口短管	ϕ 150、フランジ-塩ビ	個	4		〃
		塩化ビニール管エルボ	ϕ 150×45°	個	12		〃
		塩化ビニール管エルボ	ϕ 150×90°	個	2		〃
		管布設工	VU ϕ 150	m	126		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		TS継手工	φ 150	口	46		〃
	仮設管撤去工	塩ビ管撤去工	φ 150	m	126		〃
		塩ビ管切断工	φ 150	口	32		〃
	仮設水替工	特殊ポンプ 設置・撤去	6インチポンプ2台 賃料とも	箇所	1		〃
		迂回配管 設置・撤去	サクシヨンホース,L≦30m×2セット/箇所	箇所	1		〃
		発動発電機 賃料	ディーゼル、75KVA、排ガス2次	台	1		〃
		止水プラグ 設置・撤去	□1200×600用、1個/箇所、賃料とも	箇所	1		〃
		止水プラグ 設置・撤去	φ 900用、1個/箇所、賃料とも	箇所	2		〃
		バイパス管 設置・撤去	φ 400用、1個/箇所、賃料とも	箇所	1		〃
		バイパス管曲管 設置・撤去	φ 600用、1個/箇所、賃料とも	箇所	1		〃
		汚泥吸排車	8t車	t	8		〃
		汚泥処理		t	8		〃
	仮囲い工	仮囲い設置・撤去	丸パイプ土中打込式・囲い高さ3m	m	38		〃
	構造物取壊し工	舗装切断	t=15cm以下	m	100		〃
		舗装版破碎工	t=15cm以下	m2	68		〃
		As殻処分		m3	6.8		〃

数量総括表

[illegible]

管 き よ 工 (ϕ 900mm)

FRPM 数量計算表

測点	区間距離 ① (m)	マンホール 差引 ② (m)	管さよ延長 ③(①-②) (m)	挿し口短管 差引長 (個)	受け口短管 差引長 (個)	短管 差引長 (挿+受) ④ (m)	FRPM 管体延長 ⑤(③-④) (m)	基礎延長 管保護延長 標識シート ⑥ (m)	掘削高 ⑦ (m)	土被り高 ⑧ (m)	掘削 土砂 (m3) ⑨(⑦平均×幅×⑩)	埋戻し土 購入土 (m3) ⑪(⑨平均-0.5m/管 上0.3m+舗装0.2m)× 幅×⑩)	管保護量 (保護砂) (m3) ⑫×m当り	基礎量 基礎砂 (m3) ⑬×m当り	マンホール 可とう継手 HP用 (個)	土留め工 建込簡易土留め			
																H=2.50m 2.0<H≤2.5 (m)	H=3.00m 2.5<H≤3.0 (m)	H=3.50m 3.0<H≤3.5 (m)	H=4.00m 3.5<H≤4.0 (m)
M.1 ～ M.2	6.8	1.80	5.00	0.869m/個 1	0.869m/個 1	1.74	3.26	5.00	3.75 3.69	2.91 2.85	幅1.75m 44.27	幅1.75m 28.32	1.30m3/m 6.50	0.35m3/m 1.75	1				6.80
M.2 ～ M.3	74.0	1.50	72.50	0.869m/個 1	0.775m/個 1	1.64	70.86	72.50	3.71 3.06	2.87 2.22	幅1.70m 425.83	幅1.70m 257.26	1.24m3/m 89.90	0.34m3/m 24.65				74.00	
M.3 ～ M.4	73.0	1.20	71.80	0.775m/個 1	1.275m/個 1	2.05	69.75	71.80	3.53 2.32	2.69 1.48	幅1.70m 362.99	幅1.70m 196.70	1.24m3/m 89.03	0.34m3/m 24.41			73.00		
M.4 ～ M.5	43.7	1.20	42.50	0.775m/個 1	0.775m/個 1	1.55	40.95	42.50	3.54 2.74	2.70 1.90	幅1.70m 233.27	幅1.70m 133.72	1.24m3/m 52.70	0.34m3/m 14.45				43.70	
M.5 ～ M.6	49.7	1.50	48.20	0.775m/個 1	0.937m/個 1	1.71	46.49	48.20	2.76 1.67	1.92 0.83	幅1.70m 187.15	幅1.70m 73.93	1.24m3/m 59.77	0.34m3/m 16.39		49.70			
計	247.20		240.00	5	5	8.69	231.31	240.00			1253.51	689.93	297.90	81.65	1	49.70	73.00	117.70	6.80

FRPM φ 900、L=4000/本	管割図より	50 本	FRPM φ 900、受け口短管	管割図より L=1.500m/個	1 個
FRPM φ 900、L=3000/本	管割図より	1 本	管布設工	② FRPM φ 900	240.0 m
FRPM φ 900、L=2000/本	管割図より	6 本	埋設標識シート W15cmダブル	⑥	240.0 m
FRPM φ 900、L=1500/本	管割図より	4 本			
FRPM φ 900、調整管	管割図より L=1.750m～2.480m	5 本			
FRPM φ 900、挿し口短管	管割図より L=1.000m/個	5 個			
FRPM φ 900、受け口短管	管割図より L=1.000m/個	4 個			

RSφ300 数量計算表

測点	区間距離 ① (m)	マンホール減長 (上段:外径)		管きよ延長 ③(①-②) (m)	基礎延長 管保護延長 標識シート ④(①-②上段) (m)	掘削高 ⑤ (m)	土被り高 ⑥ (m)	掘削 土砂 幅1.10m ⑦(⑤平均×幅×①) (m3)	埋戻し土 購入土 ⑧(⑥平均-(管上 0.1m+舗装0.2m)×幅 ×①) (m3)	管基礎 基礎砂 0.51m3/m ④×m当り (m3)	マンホール 可とう継手 HP用 (個)	土留め工 建込簡易土留め				
		起点 ② (m)	終点 ② (m)									H=2.00m 1.5<H≤2.0 (m)	H=2.50m 2.0<H≤2.5 (m)	H=3.00m 2.5<H≤3.0 (m)	H=3.50m 3.0<H≤3.5 (m)	H=4.00m 3.5<H≤4.0 (m)
M.11+20.75~ M.5	1.55		0.70 0.60	0.95	0.85	2.85 2.85	2.39 2.39	4.86	3.56	0.43	1			1.55		
計	1.55			0.95	0.85			4.86	3.56	0.43	1			1.55		

RSφ300、L=1000/本	③ 0.95 ÷1.00 =	1 本
管布設工	③ RSφ300	1.0 m
埋設標識シート W15cmダブル	④	0.9 m

マ ン ホ ー ル エ

2号マンホール 組合せ表

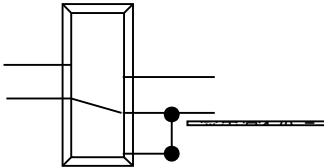
路線番号

K059~K061

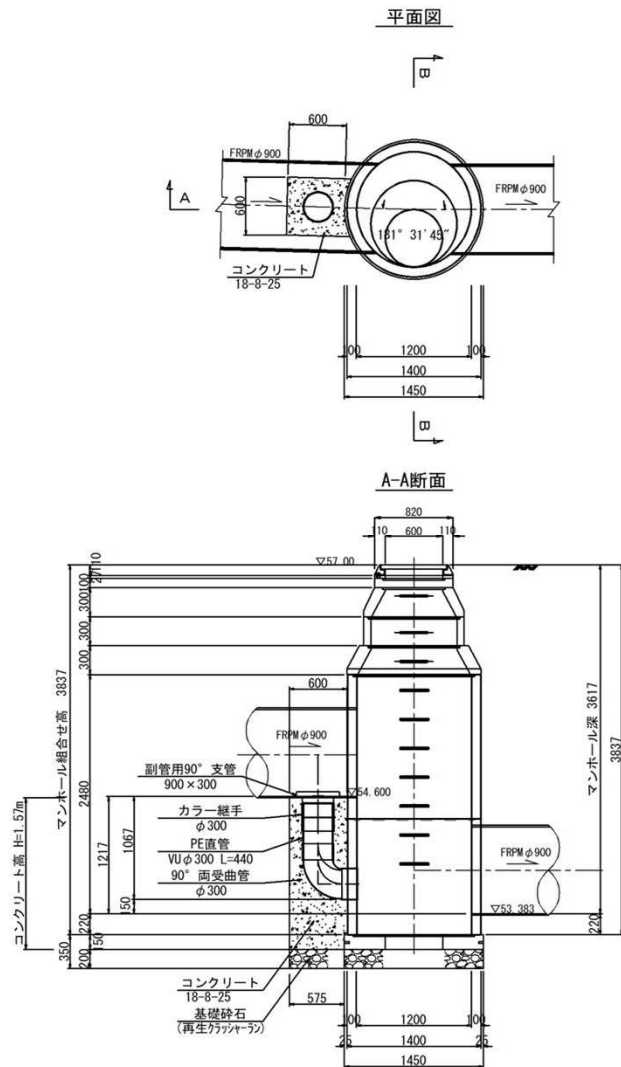
[illegible]

マンホール設置4m以下	3 箇所
マンホール設置4m超え5m以下	箇所
マンホール設置5m超え6m以下	箇所
転落防止梯子(マンホール深H=2m以上)	3 個

2号組立マンホール底部工

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 内径 B m	流 出 管			流 入 管			インバート高					基礎材		基礎砕石	コンクリート	モルタル	【 算 式 】	
			管種	管径 D 管底高 m	インバート高	径 d1～d3 m	管底高 m	落差 m	流出管	流入管3	流入管2	流入管1	平均	径 b m	厚み t m	RC-40 m2	σ ck= 18N/mm2 m3	1:2 t=2cm m2		
									h1 m	h2 m	h3 m	h4 m	h m							
K059	M3	1.20	FRPM	900 54.688	0.22	0.90	55.161	0.473	0.670				1.120	0.895	1.80	0.20	2.545	0.631	1.747	※インバート高 h1＝D/2＋流出管インバート高 h2～4＝落差＋d _n /2＋流出管インバート高 (落差≥0.15の場合は 落差＝D/2 とする) (副管がある場合は、インバート高+0.05+d ₄ /2とする。)
K060	M4	1.20	FRPM	900 53.383	0.22	0.90	54.600	1.217	0.670				1.120	0.895	1.80	0.20	2.545	0.631	1.747	
K061	M5	1.20	FRPM	900 53.310	0.22	0.90 0.30	53.330 53.431	0.020 0.121	0.670			0.491	0.690	0.617	1.80	0.20	2.545	0.295	1.850	※コンクリート B ² ×π/4×h －(d1 ² ＋d2 ² ＋d3 ² ＋D ²)×π×B/16
																				※モルタル上塗 B ² ×π/4 －(d1＋d2＋d3＋D)×B/2 ＋(d1＋d2＋d3＋D)×π×B/4
																				※基礎砕石 b ² ×π/4
																				※流出管インバート高 (通常開削の場合は0.22m、推進の場合は都度)
																				
計																※ 7.635	1.557	5.344	※基礎砕石 体積 7.64×0.20×1.20(ロス率) V=1.83m3	

副管取付工計算書



名 称	計 算 式		単位	数 量
コンクリート	$0.60 \times 0.60 \times 1.570 - 0.318^2 \times \pi / 4$ $\times 1.067$		m3	0.48
型 枠	$(0.60 + 3) \times 1.067$		m2	3.84
基礎砕石	t=20cm	0.575×0.575	m2	0.33
副管用支管	φ 900×300		個	1
カラー継手	φ 300		個	1
塩ビ管	(PE) φ 300		m	0.44
90° 曲管	φ 300		個	1
副管高 H= 1.067 m				

4号マンホール 組合せ表

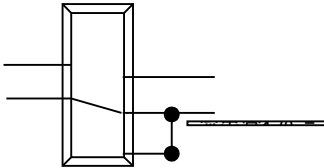
路線番号

K058

[illegible]

マンホール設置4m以下	2箇所
マンホール設置4m超え5m以下	箇所
転落防止梯子(マンホール深H=2m以上)	2個

4号組立マンホール底部工

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 内径 B m	流 出 管			流 入 管			インバート高					基礎材		基礎砕石	コンクリート	モルタル	【 算 式 】
			管種	管径 D 管底高 m	インバート高	径 d1～d3 m	管底高 m	落差 m	流出管	流入管3	流入管2	流入管1	平均	径 b m	厚み t m	RC-40	σ ck= 18N/mm2	1:2 t=2cm	
									h1 m	h2 m	h3 m	h4 m	h m			m2	m3	m2	
K058	M1	1.80	FRPM	900 55.279	0.382	0.90	55.299	0.020	0.832			0.852	0.842	2.12	0.20	3.530	1.570	3.469	※インバート高 h1＝D/2＋流出管インバート高 h2～4＝落差＋d _n /2＋流出管インバート高 (落差≥0.15の場合は 落差＝D/2 とする) (副管がある場合は、インバート高+0.05+d ₄ /2とする。) ※コンクリート B ² × π /4× h － (d1 ² ＋d2 ² ＋d3 ² ＋D ²) × π × B/16 ※モルタル上塗 B ² × π /4 － (d1＋d2＋d3＋D) × B/2 ＋ (d1＋d2＋d3＋D) × π × B/4 ※基礎砕石 b ² × π /4 ※流出管インバート高 (通常開削の場合は0.382m、推進の場合は都度) 
K058	M2	1.80	FRPM	900 55.250	0.382	0.90	55.270	0.020	0.832			0.852	0.842	2.12	0.20	3.530	1.570	3.469	
計																※ 7.060	3.140	6.938	

特殊マンホール 組合せ表

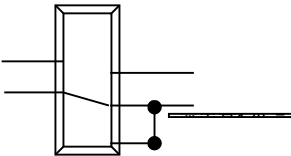
路線番号

K061

[illegible]

マンホール設置3m以下	1箇所
マンホール設置4m以下	箇所
転落防止梯子(マンホール深H=2m以上)	個

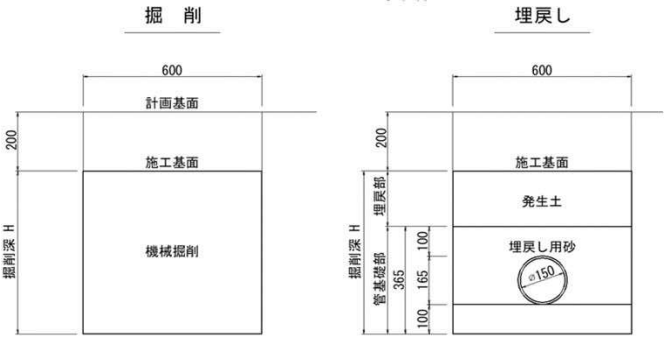
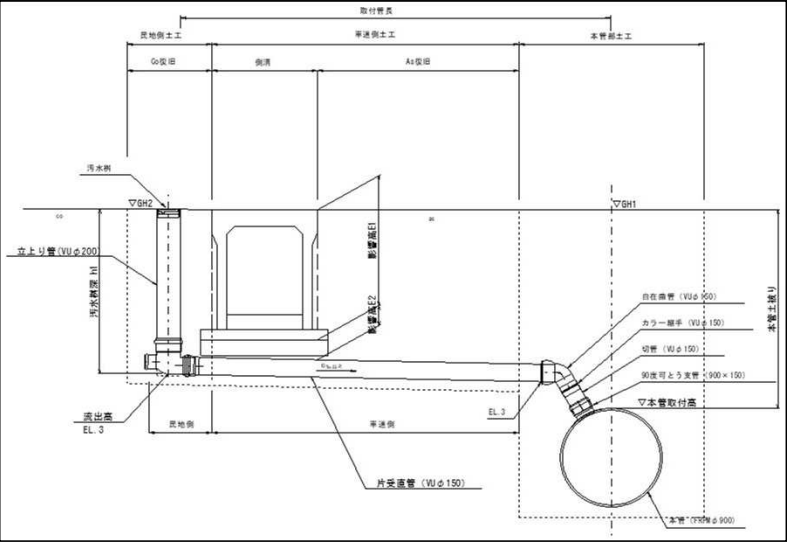
特殊組立マンホール底部工

路線 番号	マンホール 番号	マンホール	マンホール	管種	流 出 管		流 入 管			副 管		インバート高					基礎材		基礎碎石	コンクリート	モルタル	【 算 式 】	
		内幅 B	内幅 L		内空 B1×H1 管底高 m	インバート高	径 d1～d3 m	管底高 m	落差 m	径 d4 m	落差 m	流出管	流入管3	流入管2	流入管1	平均	径 b	厚み l	t	RC-40	σ ck=		1:2
		m	m									m	m	m	m	m				m	m		m
K061	M6	1.80	1.80	BOX	1200 × 600 53.230	0.31	0.90	53.250	0.020			0.610			0.780	0.695	2.36	2.36	0.20	5.570	1.642	4.242	※インバート高 h1 =D/2+流出管インバート高 h2～4=落差+d _n /2+流出管インバート高 (落差≥0.15の場合は 落差=D/2 とする) (副管がある場合は、インバート高+0.05+d ₄ /2とする。)
																							※コンクリート B×L×h —((B1×H1×1/2)+(d1 ² ×π×1/4×1/2))×1/2×L
																							※モルタル上塗 B×L —(d1+B1)×L/2 +((d1×π×1/2)+(B1+H1×1/2×2))×1/2×L
																							※基礎碎石 b×l
																							※流出管インバート高 (通常開削の場合は0.31m、推進の場合は都度)
																							
計																				※ 5.570	1.642	4.242	※基礎碎石 体積 5.57×0.20×1.20(ロス率) V=1.34m3

汚 水 枴 及 び 取 付 管 工

汚水樹及び取付管土工計算書

所 属 管 渠							掘 削 工												管基礎工	埋 戻 工		残土処分	土留め工			備 考
路線番号	宅地番号	本管掘削幅 b	取付管底部掘削幅 b'	取付延長 L	道路内延長 L1	水路控除Ⅱ L	道路種別	表層厚 (m)	舗装全厚 (m)	掘削深 (m)	平均掘削幅 b2 (m)	掘削延長 (m)	掘削土量 (m³)	宅地内掘削深 (m)	平均掘削幅 b3 (m)	宅地内掘削延長 (m³)	宅地内掘削土量 (m³)	掘削全土量 (m³)		保護砂 (m³)	山砂 (m³)		軽量鋼矢板			
																							H=2.00m 1段支保 1.5<H≦1.8	H=2.50m 1段支保 1.8<H≦2.0	H=2.50m 2段支保 2.0<H≦2.3	
K058	①	1.70	0.60	3.30	2.60	0.97			0.20	2.16	0.60	0.78	1.01	2.39	0.60	0.70	1.00	2.01	2.45	0.48	1.74	2.01			0.78	
K058	②	1.70	0.60	3.30	2.60	0.97			0.20	2.16	0.60	0.78	1.01	2.26	0.60	0.70	0.95	1.96	2.45	0.48	1.67	1.96			0.78	
K058	③	1.70	0.60	3.30	2.60	0.97			0.20	2.16	0.60	0.78	1.01	2.28	0.60	0.70	0.96	1.97	2.45	0.48	1.68	1.97			0.78	
K059	④	1.70	0.60	4.40	3.70	1.90			0.20	2.06	0.60	0.95	1.17	2.06	0.60	0.70	0.87	2.04	3.55	0.70	1.28	2.04			0.95	
K059	⑤	1.70	0.60	3.20	2.50	0.52			0.20	1.86	0.60	1.13	1.26	1.95	0.60	0.70	0.82	2.08	2.35	0.46	1.39	2.08		1.13		
K059	⑥	1.70	0.60	2.90	2.20	0.52			0.20	1.31	0.60	0.83	0.65	1.31	0.60	0.70	0.55	1.20	2.05	0.41	0.86	1.20				素掘り
K060	⑦	1.70	0.60	2.90	2.20	0.52			0.20	1.56	0.60	0.83	0.78	1.51	0.60	0.70	0.63	1.41	2.05	0.41	1.09	1.41	0.83			
合 計																		12.67	17.35	3.42	9.72	12.67	0.83	1.13	3.29	



※掘削深1.5m以上の場合、建込簡易土留め構造図による。
埋設シートは、管頂+300mmの位置とする。

汚水枥及び取付管数量計算表

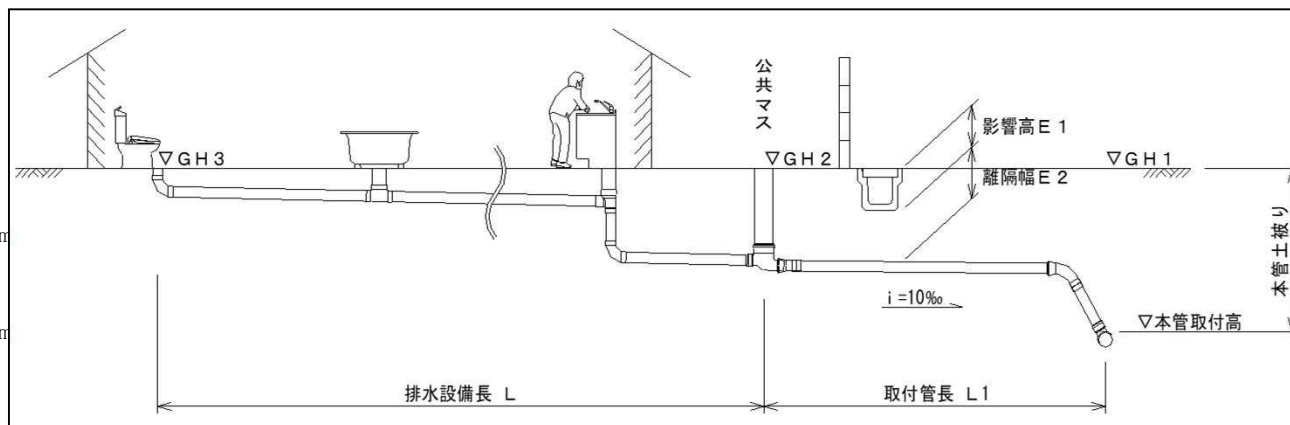
路線 番号	マン ホール 番号	樹 番号	樹 種 別	接 続 形 態	基本延長 L	本管 掘削幅 b	管 径	取付管延 長 L2=L-0.25	ゴム輪受口 片受直管 l=4.0m	公共ます 100×150- 200	90度可とう 支管 900×150	自在曲管 Vuφ150	ブレンエンド 直 管 (立管φ 200)	鋳鉄蓋 T-8	塩ビ蓋 T-2	キャップ	カラー継手	樹深	備 考
					m	m	mm	m	本	個	個	個	m	個	個	個	個	m	
K058	M.2 M.3	①	標準型	管取り	3.30	1.700	VUφ150	3.05	1	1	1	1	2.28	1		1	1	2.59	
K058	M.2 M.3	②	標準型	管取り	3.30	1.700	VUφ150	3.05	1	1	1	1	2.15	1		1	1	2.46	
K058	M.2 M.3	③	標準型	管取り	3.30	1.700	VUφ150	3.05	1	1	1	1	2.17	1		1	1	2.48	
K059	M.3 M.4	④	標準型	管取り	4.40	1.700	VUφ150	4.15	2	1	1	1	1.95	1		1	1	2.26	
K059	M.3 M.4	⑤	標準型	管取り	3.20	1.700	VUφ150	2.95	1	1	1	1	1.84	1		1	1	2.15	
K059	M.3 M.4	⑥	標準型	管取り	2.90	1.700	VUφ150	2.65	1	1	1	1	1.33		1		1	1.51	
K060	M.4 M.5	⑦	標準型	管取り	2.90	1.700	VUφ150	2.65	1	1	1	1	1.40	1		1	1	1.71	
			平均取付管長＝		3.33														
					7箇所														
合計								21.55	8	7	7	7	13.13	6	1	6	7		

汚水枥設置検討書

計算条件		単位:m
起点土被り	A	0.20
排水管径	B	0.107
最小枥深	C	0.80
ますステップ	D	0.10
取付管径	E	0.158
取付管最小土被	F	0.60

管厚7mm

管厚8mm



汚水枥の流出高は、以下を比較し、最低値を採用する。

- ①宅地内条件による流出高
 $EL2-A=GH3-A-B-I \times L$
- ②最小枥深による流出高
 $EL2-B=GH2-C$
- ③道路敷設条件による流出高
 $EL2-C=GH1-E1-E2-E$
- ④取付管最小土被りによる流出高
 $EL2-D=GH1-F-E$

路線番号	ます番号	宅地側の検討									道路側の検討						汚水枥設置決定高さ		本管取付高	
		宅地高	土被り	管径	勾配	設備長	枥地盤高	流入高	流出高①	流出高②	道路高	影響高	離隔幅	管径	流出高③	流出高④	流出高	枥深	取付長	本管取付高
		GH3	A	B	‰	L	GH2	EL1	EL2-A	EL2-B	GH1	E1	E2	D	EL2-C	EL2-D	EL3	h1	L1	本管取付高
K058	①	59.15	0.20	0.107	20	40	59.27	58.04	57.94	58.47	59.04	1.90	0.30	0.158	56.68	58.28	56.68	2.59	3.3	56.64
K058	②	59.37	0.20	0.107	20	60	58.85	57.86	57.76	58.05	58.75	1.90	0.30	0.158	56.39	57.99	56.39	2.46	3.3	56.35
K058	③	58.73	0.20	0.107	20	50	58.67	57.42	57.32	57.87	58.55	1.90	0.30	0.158	56.19	57.79	56.19	2.48	3.3	56.15
K059	④	57.83	0.20	0.107	20	72	58.06	56.08	55.98	57.26	58.06	1.80	0.30	0.158	55.80	57.30	55.80	2.26	4.4	55.75
K059	⑤	58.03	0.20	0.107	20	45	57.77	56.82	56.72	56.97	57.68	1.60	0.30	0.158	55.62	56.92	55.62	2.15	3.2	55.58
K059	⑥	57.06	0.20	0.107	20	30	57.06	56.15	56.05	56.26	57.06	1.05	0.30	0.158	55.55	56.30	55.55	1.51	2.9	55.52
K060	⑦	56.60	0.20	0.107	20	55	56.80	55.19	55.09	56.00	56.85	0.45	0.30	0.158	55.94	56.09	55.09	1.71	2.9	55.06
	7																	2.17	23.3	

工 帶 付

付 帯 工 数 量 集 計 表

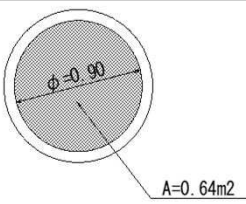
工 種	種 別 ・ 細 別	細 目 (計 算)	数 量	単位	摘 要
作業土工		付帯工数量計算書(2/6) 付帯工数量計算書(4/6)			
	機械掘削 BH0.45m3	286.50 + 30.50	317.00	m3	
	機械埋戻し 購入土 BH0.45m3	286.60 + 26.60	313.20	m3	
土留工		付帯工数量計算書(2/6) 付帯工数量計算書(4/6)			
	建込簡易土留め H=2.0m	5.9	5.9	m	
	建込簡易土留め H=3.0m	66.9	66.9	m	
既設閉塞工		付帯工数量計算書(1/6) 付帯工数量計算書(5/6)			
	モルタル充填工	106.80 + 7.04	113.84	m3	
構造物取壊し工		付帯工数量計算書(2/6) 付帯工数量計算書(5/6)			
	コンクリート取壊し 鉄筋コンクリート	24.90 + 4.88	29.78	m3	
	コンクリート取壊し 無筋コンクリート	23.50 +	23.50	m3	
	殻運搬 鉄筋コンクリート	24.90 + 4.88	29.78	m3	
	殻運搬 無筋コンクリート	23.50 +	23.50	m3	
	殻処分費 鉄筋コンクリート	62.30 + 12.20	74.50	t	
	殻処分費 無筋コンクリート	55.20 +	55.20	t	
コンクリート基礎復旧工		付帯工数量計算書(3/6)			
	コンクリート基礎 18N/mm	0.33	0.33	m3	
	型枠	1.61	1.61	m2	
	基礎碎石 RC-40 t=20cm	1.11	1.11	m2	
	基面整正	1.11	1.11	m2	
路面覆工		建込簡易土留分 付帯工数量計算書(6/6) ライナープレート 数量計算書(3) 路面覆工数量計算書			
	覆工板・覆工板受桁設置撤去工 A≤100m2以下	200.70 + 24.00	224.70	m2	
	覆工板賃料 補強型 鋼製すべり止め	83.70	83.70	m2	
	鋼材質料	9.228	9.228	t	
	仮設材運搬 搬入	28.549 + 30.153 + 6.275 + 9.358	74.335	t	
	仮設材運搬 搬出	28.549 + 30.153 + 1.569 + 9.358	69.629	t	

付帯工 数量計算書（1 / 6）

種別：既設ヒューム管充填工

管渠充填延長：L= 166.9 m

測点：既設管路

細別／規格	算式	数 量										
既設ヒューム管 φ 900内空充填												
区間延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表より	235.0 m										
管渠充填延長	〃	166.9 m										
既設管内充填工	1m当り×全延長											
エアモルタル充填	0.64 × 166.94 =	106.8 m3										
	【10m当り数量】											
	 10m当り数量 <table><tr><th>工 種</th><th>規格・寸法</th><th>単位</th><th>算式</th><th>数 量</th></tr><tr><td>モルタル充填工</td><td>φ 900</td><td>m3</td><td>0.64 × 10.0</td><td>6.40</td></tr></table> 1m当り…0.64m3	工 種	規格・寸法	単位	算式	数 量	モルタル充填工	φ 900	m3	0.64 × 10.0	6.40	
工 種	規格・寸法	単位	算式	数 量								
モルタル充填工	φ 900	m3	0.64 × 10.0	6.40								

付帯工 数量計算書（２／６）

種別： 既設ヒューム管+既設BOX撤去工

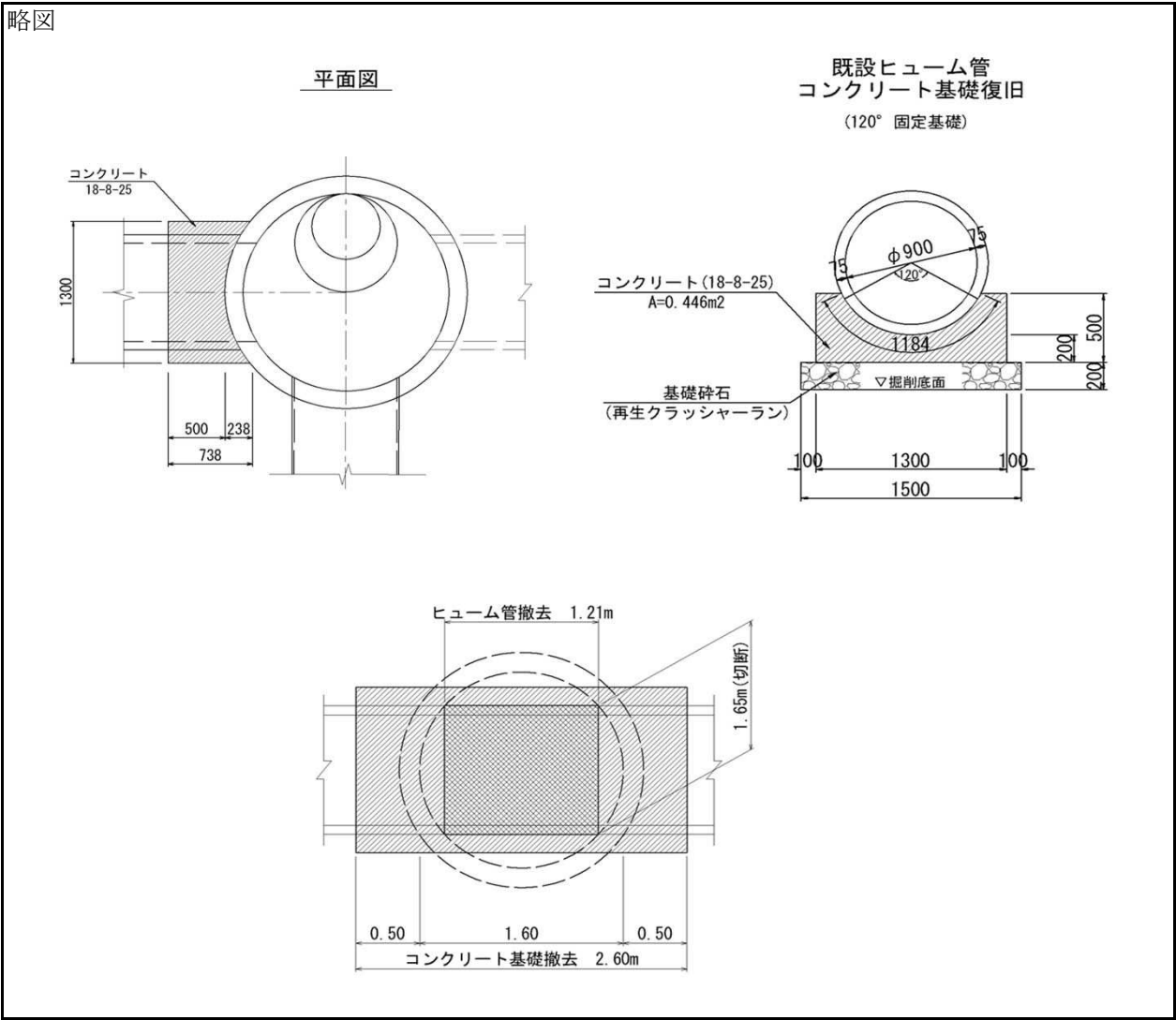
管渠撤去延長： L= 68.1 m

測点： 既設管路

細別／規格	算 式		数 量
既設ヒューム管 φ 900撤去	120° コンクリート固定基礎		
管渠撤去延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表より		48.92 m
既設BOX1200×600撤去			
管渠撤去延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表より		19.16 m
管路土工(HP φ 900)	1m当り×延長	※単位当たり数量は既設撤去図(2)を参照	
機械掘削	3.82×48.92		186.9 m3
機械埋戻し	4.41×48.92		215.7 m3
管路土工(BOX1200×600)	1m当り×延長	※単位当たり数量は既設撤去図(5)を参照	
機械掘削	5.2×19.16		99.6 m3
機械埋戻し	3.7×19.16		70.9 m3
計	機械掘削		286.5 m3
	機械埋戻し		286.6 m3
土留工			
建込簡易土留 H=3.0m	19.81+27.90+19.16	K059,K060路線,BOX撤去部	66.9 m
既設管HP φ 900撤去工	10m当り÷10×全延長	※単位当たり数量は既設撤去図(2)を参照	
構造物取壊し工	HP φ 900 鉄筋コンクリート	2.3÷10.0×48.92	11.3 m3
構造物取壊し工	Co基礎 無筋コンクリート	4.5÷10.0×48.92	22.0 m3
殻運搬(鉄筋コンクリート)		2.3÷10.0×48.92	11.3 m3
殻運搬(無筋コンクリート)		4.5÷10.0×48.92	22.0 m3
殻、処分費(鉄筋コン)	体積×単位質量2.50t/m3	11.3×2.5	28.3 t
殻、処分費(無筋コン)	体積×単位質量2.35t/m3	22×2.35	51.7 t
既設管BOX1200×600撤去工	10m当り÷10×全延長	※単位当たり数量は仮設工構造図(5)及び既設撤去図(2)を参照	
構造物取壊し工	BOX1200×600 鉄筋コンクリート製	7.1÷10.0×19.16	13.6 m3
構造物取壊し工	Co基礎 無筋コンクリート	0.8÷10.0×19.16	1.5 m3
殻運搬(鉄筋コンクリート)		7.1÷10.0×19.16	13.6 m3
殻運搬(無筋コンクリート)		0.8÷10.0×19.16	1.5 m3
殻、処分費(鉄筋コン)	体積×単位質量2.50t/m3	13.6×2.5	34.0 t
殻、処分費(無筋コン)	体積×単位質量2.35t/m3	1.5×2.35	3.5 t
計	構造物取壊し工(鉄筋コンクリート)		24.9 m3
	構造物取壊し工(無筋コンクリート)		23.5 m3
	殻運搬(鉄筋コンクリート)		24.9 m3
	殻運搬(無筋コンクリート)		23.5 m3
	殻、処分費(鉄筋コン)		62.3 t
	殻、処分費(無筋コン)		55.2 t

付帯工 数量計算書(3/6)

コンクリート基礎復旧工 数量計算書 M.1



M.1 呑口		延長L= 0.738 壁高H= 0.50			
名 称	規 格	算 式	数 量	単 位	
(基面整正) 基礎碎石	RC-40,t=200	0.738 × 1.50 =	1.11	m ²	
同上、量		1.11 × 0.20 =	0.22	m ³	
基面整正		0.738 × 1.50 =	1.11	m ²	
型枠		0.738 × (0.50 × 2 + 1.184) =	1.61	m ²	
コンクリート	18N/mm ²	0.738 × 0.446 =	0.33	m ³	

付帯工 数量計算書 (4/6)

種別：マンホール処理工 作業土工

箇所数：N= 3.0 箇所

測点：既設管路

細別／規格	算式	数 量
既設マンホール処理工 箇所数	タイプA 平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表	2.0 箇所
既設マンホール処理工 箇所数	タイプB 平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表	1.0 箇所
作業土工(タイプA)	1箇所当り×箇所	
機械掘削	9.2×2	18.4 m3
機械埋戻(購入土)	7.8×2	15.6 m3
作業土工(タイプB)	1箇所当り×箇所	
機械掘削	12.1×1	12.1 m3
機械埋戻(購入土)	11×1	11.0 m3
計	機械掘削 機械埋戻(購入土)	30.5 m3 26.6 m3
土留工 建込簡易土留 H=2.0m	2.7+3.2	5.9 m

タイプ(A) 1箇所当り作業土工 <table><tr><td>床掘</td><td>幅</td><td>長さ</td><td>掘削高</td><td>差引量</td><td>=</td><td>9.2 m3</td></tr><tr><td>埋戻</td><td>幅</td><td>長さ</td><td>掘削高</td><td>埋戻高</td><td>=</td><td>7.8 m3</td></tr><tr><td></td><td>2.70</td><td>2.70</td><td>1.60</td><td>- 0.53</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7">(差引量)</td></tr><tr><td>頂版・躯体壁</td><td>1.70</td><td>1.70</td><td>π ÷ 4 × 0.72</td><td>=</td><td>1.63</td><td></td></tr><tr><td>斜壁</td><td>(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2</td><td></td><td></td><td>=</td><td>0.63</td><td></td></tr><tr><td>リング、鉄蓋</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>π ÷ 4 × 0.27</td><td>=</td><td>0.21</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">差引 (計)</td><td></td><td>2.47</td></tr></table>	床掘	幅	長さ	掘削高	差引量	=	9.2 m3	埋戻	幅	長さ	掘削高	埋戻高	=	7.8 m3		2.70	2.70	1.60	- 0.53			(差引量)							頂版・躯体壁	1.70	1.70	π ÷ 4 × 0.72	=	1.63		斜壁	(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2			=	0.63		リング、鉄蓋	1.00	1.00	π ÷ 4 × 0.27	=	0.21		差引 (計)						2.47	タイプ(B) 1箇所当り作業土工 <table><tr><td>床掘</td><td>幅</td><td>長さ</td><td>掘削高</td><td>差引量</td><td>=</td><td>12.1 m3</td></tr><tr><td>埋戻</td><td>幅</td><td>長さ</td><td>掘削高</td><td>埋戻高</td><td>=</td><td>11.0 m3</td></tr><tr><td></td><td>3.20</td><td>3.20</td><td>1.60</td><td>- 0.53</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7">(差引量)</td></tr><tr><td>頂版・躯体壁</td><td>2.20</td><td>2.20</td><td>0.72</td><td>=</td><td>3.48</td><td></td></tr><tr><td>斜壁</td><td>(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2</td><td></td><td></td><td>=</td><td>0.63</td><td></td></tr><tr><td>リング、鉄蓋</td><td>1.00</td><td>1.00</td><td>π ÷ 4 × 0.27</td><td>=</td><td>0.21</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">差引 (計)</td><td></td><td>4.32</td></tr></table>	床掘	幅	長さ	掘削高	差引量	=	12.1 m3	埋戻	幅	長さ	掘削高	埋戻高	=	11.0 m3		3.20	3.20	1.60	- 0.53			(差引量)							頂版・躯体壁	2.20	2.20	0.72	=	3.48		斜壁	(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2			=	0.63		リング、鉄蓋	1.00	1.00	π ÷ 4 × 0.27	=	0.21		差引 (計)						4.32
床掘	幅	長さ	掘削高	差引量	=	9.2 m3																																																																																																											
埋戻	幅	長さ	掘削高	埋戻高	=	7.8 m3																																																																																																											
	2.70	2.70	1.60	- 0.53																																																																																																													
(差引量)																																																																																																																	
頂版・躯体壁	1.70	1.70	π ÷ 4 × 0.72	=	1.63																																																																																																												
斜壁	(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2			=	0.63																																																																																																												
リング、鉄蓋	1.00	1.00	π ÷ 4 × 0.27	=	0.21																																																																																																												
差引 (計)						2.47																																																																																																											
床掘	幅	長さ	掘削高	差引量	=	12.1 m3																																																																																																											
埋戻	幅	長さ	掘削高	埋戻高	=	11.0 m3																																																																																																											
	3.20	3.20	1.60	- 0.53																																																																																																													
(差引量)																																																																																																																	
頂版・躯体壁	2.20	2.20	0.72	=	3.48																																																																																																												
斜壁	(1.10 × 1.10 × π ÷ 4 + 1.20 × 1.20 × π ÷ 4) ÷ 2			=	0.63																																																																																																												
リング、鉄蓋	1.00	1.00	π ÷ 4 × 0.27	=	0.21																																																																																																												
差引 (計)						4.32																																																																																																											

付帯工 数量計算書 (5/6)

種別： 既設マンホール撤去+充填工

基数： n= 3 基

測点： 既No. 2～既No. 4

細別／規格	算 式	数 量
2号マンホール処理 基数	φ 1200 平均高H=1.6m タイプA	2 基
特殊マンホール処理 基数	1700×1700 平均高H=1.6m タイプB	1 基
マンホール蓋・受枠H=110、T-14		3 組
鉄蓋運搬重量	単位重量0.094t/個 × 3	0.282 t
＜マンホール躯体/鉄筋コンクリート＞	既設撤去図(1)より	
調整リング φ 600	0.08 × 3	0.24 m3
斜壁 φ 600-900	0.31 × 3	0.93 m3
頂版 φ 1700	0.34 × 2	0.68 m3
頂版2200×2200	0.88 × 1	0.88 m3
躯体壁 φ 1200	0.58 × 2	1.16 m3
躯体壁1700×1700	0.99 × 1	0.99 m3
	計 4.880 m3	
構造物取壊し工(鉄筋コンクリート)		4.88 m3
殻運搬(鉄筋コンクリート)		4.88 m3
殻処分費	4.88×2.50	12.20 t
＜モルタル充填工/躯体ブロック内空部＞		
モルタル充填工	既設撤去図(1)より 2.19 + 2.43 + 2.42	7.04 m3

付帯工 数量計算書 (6/6)

種別：路面覆工

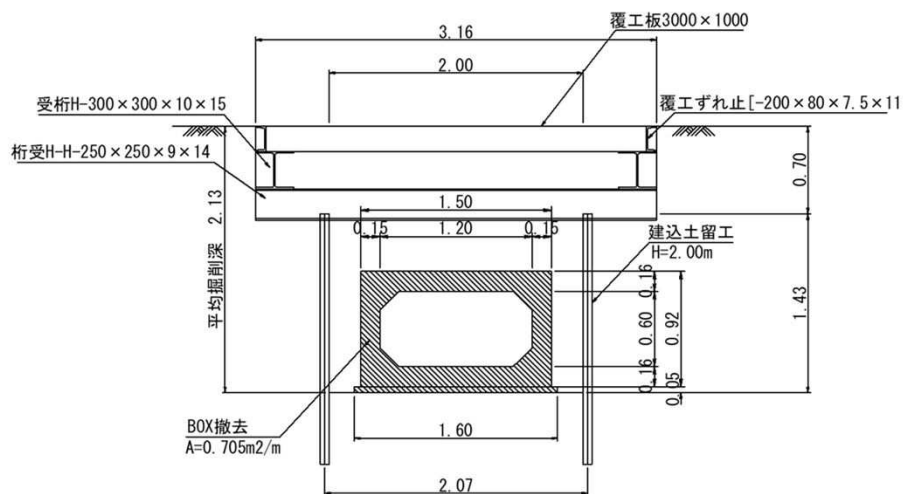
延長：L= 68.1 m

測点：既No. 2～M. 6

細別／規格	算 式	数 量
既設ヒューム管 φ 900撤去	120° コンクリート固定基礎	
管渠撤去延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表	48.92 m
既設BOX1200×600撤去		
管渠撤去延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (HP φ 900) の算出表	19.16 m
覆工板・覆工板受桁設置撤去工	$A \leq 100\text{m}^2$ 3.0×66.9	200.7 m ²
覆工板重量	3000×1000 単位重量0.250t/m ² $3 \times 27.9 \times 0.25$	20.925 t
受桁重量	H-300×300×10×15 単位重量0.100t/m $27.9 \times 0.1 \times 2$	5.580 t
桁受重量	H-250×250×9×14 単位重量0.0800t/m $3.16 \times 0.08 \times 9$	2.275 t
覆工ずれ止重量	$[-200 \times 80 \times 7.5 \times 11$ 単位重量0.0246t/m $27.9 \times 0.0246 \times 2$	1.373 t
	桁材合計	9.228 t
	仮設材合計	30.153 t
	※重量は最大スパン延長L=27.90mで算出	
	※桁受けは3mに1箇所設置とする。(27.9/3≒9カ所)	
覆工板賃料	補強型すべり止め 3×27.9	83.7 m ²
鋼材賃料		9.228 t
仮設材運搬	搬入・搬出	30.153 t

既設BOX撤去断面

掘削断面



仮 設 工 数 量 集 計 表

工 種	種 別 ・ 細 別	細 目 (計 算)	数 量	単位	摘 要
作業土工		土積等計算表(仮設1) 土積等計算表(仮設2) ライナープレートエ 数量計算書(1/3)			
	機械掘削 BH0. 45m3	32. 50 + 32. 00 74. 60	139. 10	m3	
	保護砂 機械埋戻し BH0. 45m3	+ 15. 00 51. 10	66. 10	m3	
	発生土 機械埋戻し BH0. 45m3	23. 10	23. 10	m3	
	残土処理	(139. 10 — 23. 10) / 0. 90	128. 89	m3	
管基礎工		土積等計算表(仮設2)			
	砂基礎	3. 40	3. 40	m3	
土留工					
	矩形ライナープレート設置 3206×4619 t=2. 7mm		4. 0	m	
	ライナープレート撤去 3206×4619 t=2. 7mm		1. 0	m	
	ライナープレート全損 3206×4619 t=2. 7mm		3. 0	m	
	グラウトエ		5. 8	m3	
	基礎コンクリート 18N/mm2 t=287cm		4. 3	m3	
	鏡切工		9. 5	m	
仮設管布設工					
	硬質塩化ビニル管 VUφ150 TS受口 L=4000mm		32	本	
	TSフランジ-差口短管 φ150、フランジ-塩ビ		4	個	
	塩化ビニール管エルボ φ150×45°		12	個	
	塩化ビニール管エルボ φ150×90°		2	個	
	管布設工 VUφ150		126	m	
	TS継手工 φ150		46	口	
仮設管撤去工	塩ビ管撤去工 VUφ150		126	m	
	塩ビ管切断工 φ150		32	口	

仮 設 工 数 量 集 計 表

工 種	種 別 ・ 細 別	細 目 (計 算)	数 量	単位	摘 要
仮設水替工	特殊ポンプ 設置・撤去 6インチポンプ2台 賃料とも		1	箇所	
	迂回配管 設置・撤去 サクションホース、L≦30m×2セット/箇所		1	箇所	
	発動発電機 賃料 ディーゼル、75KVA、排ガス2次		1	台	
	止水プラグ 設置・撤去 □1200×600用、1個/箇所、賃料とも		1	箇所	
	止水プラグ 設置・撤去 φ900用、1個/箇所、賃料とも		2	箇所	
	バイパス管 設置・撤去 φ400用、1個/箇所、賃料とも		1	箇所	
	バイパス管曲管 設置・撤去 φ400用、1個/箇所、賃料とも		1	箇所	
残留汚水処理工	汚泥吸排車 8 t 車		8	m3	残留汚水量推定図
	汚泥処理		8	m3	中間処理、泥水
構造物取壊し工		ライナープレート工 数量計算書(舗装2-1) 数量計算書(舗装2-2) 数量計算書(1/3)			
	舗装切断 t=15cm以下	11.20 + 68.00 + 20.60	99.80	m	
	舗装版破碎工 t=15cm以下	7.80 + 35.00 + 25.60	68.40	m2	
	As殻処分	1.20 + 1.80 + 3.80	6.80	m3	
	As殻処分費	2.80 + 4.2 + 8.93	15.93	t	
アスファルト舗装復旧工		ライナープレート工 数量計算書(舗装2-1) 数量計算書(舗装2-2) 数量計算書(1/3)			
	表層工 再生密粒度アスコン t=5cm	10.80 + 55.40 + 25.60	91.80	m2	
	中間層工 再生粗粒度アスコン t=5cm	10.80 + 25.60	36.40	m2	
	基層工 再生粗粒度アスコン t=5cm	10.80 + 25.60	36.40	m2	
	上層路盤工 再生粒調碎石 t=15cm	3.70 + 35.00 + 25.60	64.30	m2	
	下層路盤工 再生クラッシャーラン t=15cm	+ 35.00	35.00	m2	
	下層路盤工 再生クラッシャーラン t=23cm	3.70 + 25.60	29.30	m2	

土 積 等 計 算 表 (仮 設 1)

工種	細別	規格	単 位	計(既設上部BOX)	計 (既 設 BOX)	合 計	備 考
管路土工	掘削	土砂	m3	5.2	27.3	32.5	
	埋戻し(発生土/良質土)	1.0≦W<4.0	m3	0.0	0.0	0.0	管頂+0.3mまで
	埋戻し(発生土)	1.0≦W<4.0	m3	3.7	19.4	23.1	

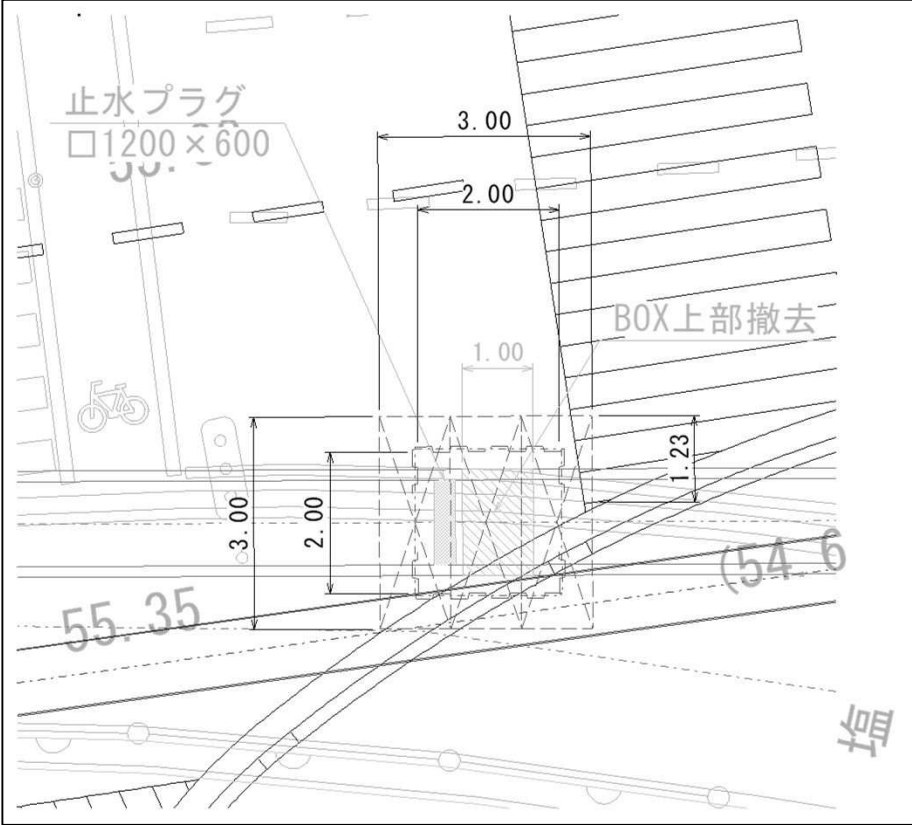
[illegible]

工 種	細 別	規 格	単 位	計	備 考
管路土工	掘削	土砂	m3	32.0	
	埋戻し(管保護砂)	$1.0 \leq W < 4.0$	m3	15.0	管頂+0.3mまで
	砂基礎	$1.0 \leq W < 4.0$	m3	3.4	

[illegible]

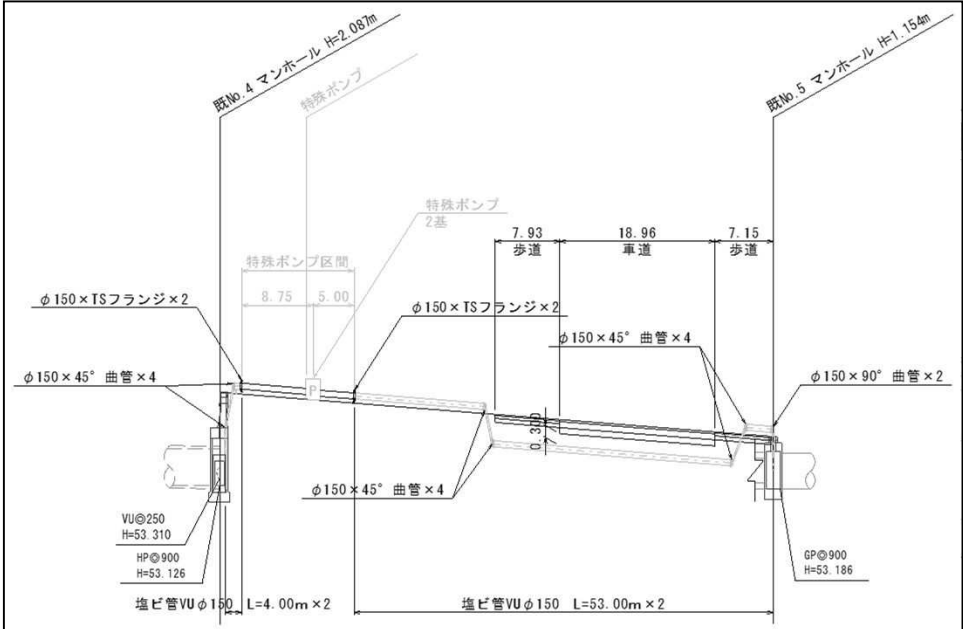
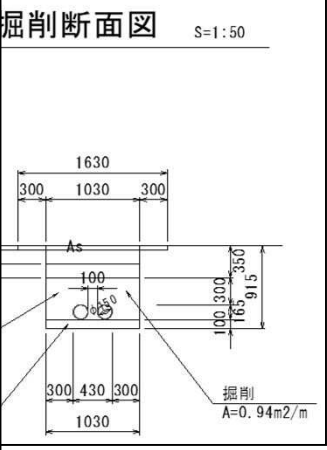
数量計算書(舗装2-1)

工種：付帯工
種別：舗装版破碎工
延長：L= 3.0 m

概略図				
				
【step. 2】 止水プラグ設置時				
細別	規格・寸法	算 式		数 量
(アスファルト舗装撤去)		L		
舗装切断	t=15cm以下	$(3.0 - 0.4) \times 2 + 3.0 \times 2$	11.2	11.2 m
舗装版破碎	t=15cm以下	$(3.0 - 0.4) \times 3.0$	7.8	7.8 m2
As殻処分		7.8×0.15	1.2	1.2 m3
As殻処分費		1.2×2.35	2.8	2.8 t
(アスファルト舗装復旧工)	復旧幅W=0.30m(片側)			
表層工	再生密粒度アスコン,t=5cm	3.6×3.00	10.8	10.8 m
中間層工	再生密粒度アスコン,t=5cm	3.6×3.00	10.8	10.8 m2
基層工	再生粗粒度アスコン,t=5cm	3.6×3.00	10.8	10.8 m2
上層路盤工	再生粒調碎石,t=15cm	3.0×1.23	3.7	3.7 m2
下層路盤工	再生クラッシャーラン,t=15cm	3.0×1.23	3.7	3.7 m2

数量計算書(舗装2-2)

工種：付帯工
種別：舗装版破碎工
延長：L= 34.0 m

概略図				
				
L= 34.0 m				
【step.2】市道横断部		1式当り		
細別	規格・寸法	算 式		数 量
(アスファルト舗装撤去)				
舗装切断	t=15cm以下	34.0×2	68.0	68.0 m
舗装版破碎	t=15cm以下	34.0×1.03	35.0	35.0 m2
As殻処分		35.0×0.05	1.8	1.8 m3
As殻処分費		1.8×2.35	4.2	4.2 t
(アスファルト舗装復旧工)				
表層工	密粒度アスコン,t=5cm	34.0×1.63	55.4	55.4 m2
上層路盤工	粒調碎石,t=15cm	34.0×1.03	35.0	35.0 m2
下層路盤工	再生クラッシャーラン,t=15cm	34.0×1.03	35.0	35.0 m2

数量計算書(塩ビ管)

工種： 仮設工
種別： 硬質塩化ビニール管TS受 φ 150
延長： L= 63.0 m

概略図				
既設No. 4～既設No. 5				
細別	規格・寸法	算式		1式当り 数量
(材料)				
硬質塩化ビニール管	VU φ 150、TS受口L=4000mm	$63.00 \times 2 \div 4.00$	31.5	32 本
TSフランジ-差口短管	φ 150、フランジ-塩ビ			4 個
塩化ビニール管エルボ	φ 150×45°			12 個
塩化ビニール管エルボ	φ 150×90°			2 個
(労務)				
塩ビ管据付工	φ 150	63.00×2	126.0	126.0 m
TS継手工	φ 150 (1口)	$63.0 \times 2 \div 4.00$	31.5	46 口
		12+2	14.0	
		(計)	46	
(仮設管撤去工)				
塩ビ管撤去工	φ 150、再利用なし撤去	撤去延長		126.0 m
塩ビ管切断工	φ 150	$126.0 \div 4$	31.5	32 口

数量計算書(仮設水替：ポンプ)

工種： 仮設工
種別： 仮設ポンプ設備
箇所： N= 1 箇所

概略図			
仮設ポンプ設置模式図 1箇所当り			
細別	規格・寸法	算式	数量
(仮設ポンプ設備工)			
特殊ポンプ 設置・撤去	6インチポンプ2台 賃料とも		1 箇所
迂回配管 設置・撤去	サクションホース,L≦30m×2セット/箇所		1 箇所
発動発電機	ディーゼル、75KVA、排ガス2次		1 台
(止水プラグ設備工)			
止水プラグ 設置・撤去	□1200×600用、1個/箇所、賃料とも		1 箇所

数量計算書(仮設水替：バイパス)

工種： 仮設工

種別： バイパス管

箇所： N= 1 箇所

概略図			
1箇所当り			
細別	規格・寸法	算 式	数 量
(バイパス管設備工)			
止水プラグ 設置・撤去工	φ 900用、1個/箇所、賃料とも		2 箇所
バイパス管 設置・撤去	φ 400用、1個/箇所、賃料とも		1 箇所
(切替工)			
バイパス管曲管 設置・撤去	φ 400用、1個/箇所、賃料とも		1 箇所

ライナープレート工 数量計算書（１／３）

種別： 矩形ライナープレート

3206×4619, t=2.7mm

測点： M.1

細別／規格	算 式		数 量
ライナープレート設置高	t=2.7mm		4.00 m
			6275.3 kg
ライナープレート撤去高	t=2.7mm		1.00 m
			1568.8 kg
作業土工	仮設工構造図(2)より		
掘削土量	覆工部機械掘削		
	$4.16 \times 6.16 \times (0.75 - 0.15)$	=	15.4 m3
	機械掘削		
	$3.206 \times 4.619 \times 4.00$	=	59.2 m3
		計	74.6 m3
埋戻し(山砂)	74.6 - 23.5	=	51.1 m3
差引量			
基礎碎石、底版	$3.206 \times 4.623 \times 0.29$	=	4.30 m3
躯体壁	$2.12^2 \times \pi \div 4 \times 2.35$	=	8.30 m3
直壁	$1.05^2 \times \pi \div 4 \times 1.20$	=	1.04 m3
斜壁	$(1.05^2 \times \pi \div 4 + 0.91^2 \times \pi \div 4) \div 2 \times 0.16$	=	0.12 m3
路盤	$4.16 \times 6.16 \times 0.38$	=	9.74 m3
		計	23.5 m3
舗装切断(t=15cm以下)	$4.16 \times 2 + 6.16 \times 2$	=	20.6 m
舗装版破碎(t=15cm以下)	4.16×6.16	=	25.6 m2
As殻処分	25.6×0.15	=	3.80 m3
As殻処分費	3.8×2.35	=	8.93 t
アスファルト舗装復旧工			
表層工	再生密粒度アスコン, t=5cm	4.16×6.16	25.6 m2
中間層工	再生粗粒度アスコン, t=5cm	4.16×6.16	25.6 m2
基層工	再生粗粒度アスコン, t=5cm	4.16×6.16	25.6 m2
上層路盤工	再生粒調碎石, t=15cm	4.16×6.16	25.6 m2
下層路盤工	再生クラッシャーラン, t=23cm	4.16×6.16	25.6 m2

ライナープレート工 数量計算書 (2/3)

種別： 矩形ライナープレート

3206×4619, t=2.7mm

測点： M1

細別／規格	算 式	数 量
基礎コンクリート(18-8-40)	$3.206 \times 4.619 \times 0.29$	4.3 m3
グラウト工	$\{(3.206 + 0.09 \times 2) \times (4.619 + 0.09 \times 2) - 3.206 \times 4.619\} \times 4.0$	5.8 m3
鏡切り工	$\phi 900 \text{ (FRPM)}$ $2 \times \pi \times 0.468 = 2.94$ $\phi 900 \text{ (HP)}$ $2 \times \pi \times 0.525 \times 2 = 6.60$	9.5 m
	計	9.54

ライナープレート工 数量計算書 (3 / 3)

種別： 矩形ライナープレート

3206×4619, t=2.7mm

測点： M1

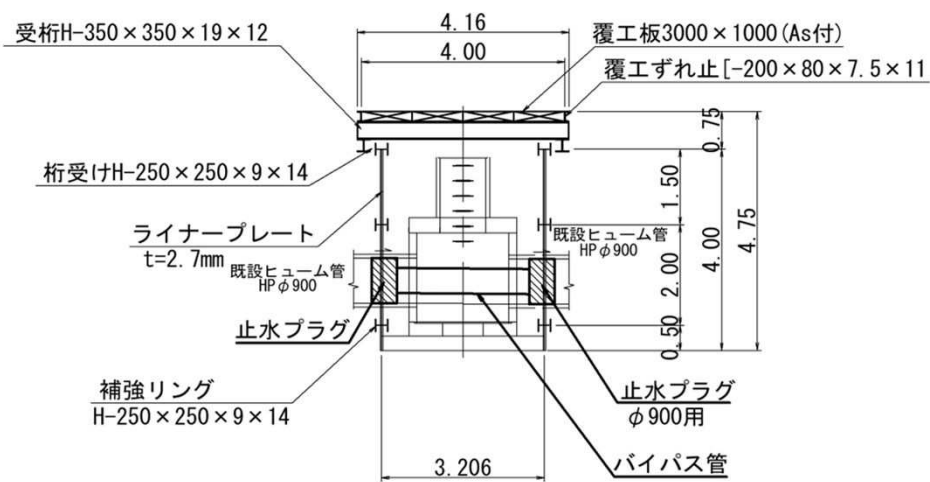
細別／規格	算 式		数 量
ライナープレート	SP-10 2.7×500×1570	単位重量 W=26.0kg	6275.3 kg
	26.0×16	416.0kg	
	SP- 7 2.7×500×1099	単位重量 W=18.6kg	
	18.6×48	892.8kg	
	SP- 6 2.7×500×942	単位重量 W=16.2kg	
	16.2×16	259.2kg	
	PL- 6 2.7×500×1008	単位重量 W=20.8kg	
	20.8×32	665.6kg	
	組立ボルト	M16×30(4.6,LP用)	
		0.121×938	
補強リング(H-250)	直材	M16×45(8.8,HR用)	単位重量 W=0.158kg
		0.158×392	
	計		2409.0kg
	3リング 継手部・・・6箇所/1リング当たり		
	直材	H-250×250×9×14×2663	単位重量 W=191.2kg
		191.2×6	
	コーナー材	H-250×250×9×14×2572	単位重量 W=184.7kg
		184.7×12	
	継手板	PL-250×12×440	単位重量 W=10.4kg
		10.4×36	
継手ボルト	継手ボルト	M20×60(10.9)	単位重量 W=0.297kg
		0.297×432	
	計		3866.3kg
合計			6275.3kg

路面覆工 数量計算書

種別：路面覆工

測点：M.1

細別／規格	算式	数量
覆工板	3000×1000 6.00 × 4.00 単位重量0.250t/m ² 24 × 0.25	24.0 m ² 6.000 t
受桁	H-350×350×19×12 単位重量0.150t/m 4.16 × 0.15 × 3	1.872 t
桁受	H-250×250×9×14 単位重量0.0800t/m 6.16 × 0.08 × 2	0.986 t
覆工ずれ止	[-200×80×7.5×11 単位重量0.0246t/m 4.16 × 0.0246 × 2 [-200×80×7.5×11 単位重量0.0246t/m 6.00 × 0.0246 × 2	0.205 t 0.295 t
鋼材運搬	覆工板	6.000 t
鋼材運搬	桁材	3.358 t
	合計	9.358 t



数 量 総 括 表

支線VU ϕ 250

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
管きよ工	(管径250mm)						
	管路土工			式	1		
		機械掘削	BH0.45m3	m3	541		VU φ 250 数量計算表
		埋戻し(管保護砂)	山砂 BH0.45m3	m3	106		〃
		埋戻し	購入土 BH0.45m3	m3	417		〃
		残土処理	L= 2.0 km	m3	541		〃
	管布設工			式	1		
		管布設工	硬質塩化ビニル管 φ 250mm	m	259		VU φ 250 数量計算表
		マンホール可とう継手取付工	可とう性継手 塩ビ管(VU) φ 250mm用	箇所	14		〃
		埋設標識シート	W15cmダブル	m	257		〃
	管基礎工			式	1		
		砂基礎	360° 砂基礎	m3	106		VU φ 250 数量計算表
	土留め工			式	1		
		建込簡易土留め	H=2.0m	m	164		VU φ 250 数量計算表
		建込簡易土留め	H=2.5m	m	52		〃
		建込簡易土留め	H=3.0m	m	49		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
マンホール工							
	組立1号マンホール工			箇所	7		
		マンホール蓋・受枠	浮上防止型・かぎ付 H=110、T-14	組	7		1号マンホール 組合せ表
		転落防止梯子		個	5		〃
		調整金具	t=25mmまで	組	3		〃
		調整金具	t=45mmまで	組	4		〃
		調整リング	600× H=100	個	3		〃
		調整リング	600× H=150	個	4		〃
		斜壁	900／600× H=300	個	1		〃
		斜壁	900／600× H=450	個	4		〃
		斜壁	900／600× H=600	個	2		〃
		直壁	900× H= 300	個	2		〃
		直壁	900× H= 600	個	1		〃
		直壁	900× H= 900	個	1		〃
		直壁	900× H=1200	個	1		〃
		躯体ブロック	900× H=1200	個	5		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		躯体ブロック	900× H=1500	個	2		〃
		底版	900用 H=130	個	7		〃
		組立マンホール設置工	3.0m以下	箇所	6		〃
		組立マンホール設置工	4.0m以下	箇所	1		〃
		削孔	φ 150用	箇所	1		〃
		削孔	φ 250用	箇所	8		〃
		底部工		式	1		1号組立マンホール底部工
		<底部工一式当り数量>					
		基礎砕石	RC-40, t=20cm	m3	1.6		材料のみ (手間はマンホール設置に含む)
		インバートコンクリート	小型構造物 18N/mm2	m3	1.4		
		モルタル上塗り工	配合1:2, 厚さ2cm	m2	6.2		
		内副管取付工		式	1		副管取付工計算書
		<内副管一式当り数量>					
		副管取付工	1.0m以上1.5m未満	箇所	1		副管取付工計算書
		内副管用継手	φ 250×200	個	1		〃
		カラー継手	φ 200	個	1		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		ブレーションエンド直管	φ 200	m	0.92		〃
		90° 曲管	φ 200	個	1		〃
		固定バンド	φ 200	m2	2		〃
	小型塩ビ製マンホール設置工			式	1		1 箇所
		小型マンホール設置工	H≦2.0m	箇所	1		市場単価(材工共)
		鋳鉄製防護蓋	T-14 ます径300	組	1		
		内蓋	φ 300	個	1		
		蓋設置工	鋳鉄製防護蓋	箇所	1		
汚水柵及び取付管工							
	ます設置工						
		ます(塩ビ製 ◎200)	H≦1.5m 5箇所未満	箇所	4		市場単価(材工共) 防護蓋2箇所
		防護蓋	鋳鉄製 T-8 φ 200	組	7		汚水柵及び取付管数量計算表
		内蓋	φ 200	個	5		〃
		防護蓋設置工	φ 200	箇所	7		〃
		ます(塩ビ製 ◎200)	H>1.5m	箇所	5		〃
		公共ます	100×150-200	個	5		〃

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		塩化ビニル管(VU)	立管 φ 200	m	7.9		〃
		塩化ビニル管(VU)	プレーンエンド直管 φ 200、L=4000mm	本	2		〃
	取付管布設工						
		取付管布設及び支管取付工	5箇所以上 5m≦L<12m	箇所	9		平均長L=6.6m 污水桝及び取付管土工計算書
		90度可とう支管	250×150	個	9		〃
		自在曲管	VU φ 150	個	9		〃
		カラー継手	VU φ 150用	個	9		〃
	作業土工	機械掘削		m3	41.2		〃
		埋戻し(管保護砂)	山砂	m3	10.9		〃
		埋戻し	購入土	m3	4.5		〃
		残土処理	L= 2.0 km	m3	41.2		〃
	土留め工			式	1		
		軽量鋼矢板	H=2.0m 1段支保	m	20.7		污水桝及び取付管土工計算書
		軽量鋼矢板	H=3.0m 2段支保	m	4.8		〃
付帯工							
	作業土工	機械掘削	BH0.45m3	m3	159		付帯工数量集計表

数 量 総 括 表

[illegible]

管 き よ 工 (ϕ 250mm)

VU φ 250 数量計算表

測点	区間距離 ① (m)	マンホール減長 (上段:外径)		管きょ延長 ③(①-②) (m)	基礎延長 管保護延長 標識シート ④(①-②上段) (m)	掘削高 ⑤ (m)	土被り高 ⑥ (m)	掘削 土砂 幅1.00m ⑦(⑤平均×幅×①) (m3)	埋戻し土 購入土 ⑧(⑥平均-(管上 0.1m+舗装0.2m)×幅 ×①) (m3)	管基礎 基礎砂 0.41m3/m ④×m当り (m3)	マンホール 可とう継手 VU用 (個)	土留め工 建込簡易土留め				
		起点	終点									H=2.00m 1.5<H≤2.0	H=2.50m 2.0<H≤2.5	H=3.00m 2.5<H≤3.0	H=3.50m 3.0<H≤3.5	H=4.00m 3.5<H≤4.0
		② (m)	② (m)									(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
M.7 ～ M.8	40.00	0.525 0.450	0.525 0.450	39.10	38.95	1.46 1.74	1.29 1.57	64.00	45.20	15.97	2	40.00				
M.8 ～ M.9	40.30	0.525 0.450	0.525 0.450	39.40	39.25	1.76 1.94	1.59 1.78	74.56	55.82	16.09	2	40.30				
M.9 ～ M.10	63.00	0.525 0.450	0.525 0.450	62.10	61.95	1.96 1.76	1.80 1.59	117.18	87.89	25.40	2	63.00				
M.10 ～ M.11	46.20	0.525 0.450	0.525 0.450	45.30	45.15	3.18 2.35	3.01 2.18	127.74	106.03	18.51	2			46.20		
既M.1～ M.12	2.90	0.525 0.450	0.525 0.450	2.00	1.85	2.46 2.56	2.29 2.39	7.28	5.92	0.76	2			2.90		
M.12 ～ M.13	52.00	0.525 0.450	0.525 0.450	51.10	50.95	2.58 1.76	2.41 1.59	112.84	88.40	20.89	2		52.00			
M.13 ～ M.14	8.00	0.525 0.450	0.310 0.150	7.40	7.17	2.08 1.39	1.92 1.23	13.88	10.20	2.94	1	8.00				
M.14 ～ M.11	12.90	0.180 0.150	0.525 0.450	12.30	12.20	1.39 2.31	1.23 2.15	23.87	17.93	5.00	1	12.90				
計	265.30			258.70	257.47			541.35	417.39	105.56	14	164.20	52.00	49.10		

VU φ 250、L=4000/本	③ 258.70 ÷4.00 =	65 本
管布設工	③ VU φ 250	258.7 m
埋設標識シート W15cmダブル	④	257.5 m

マ ン ホ ー ル エ

1号マンホール 組合せ表

路線番号

K060A~K061A-1

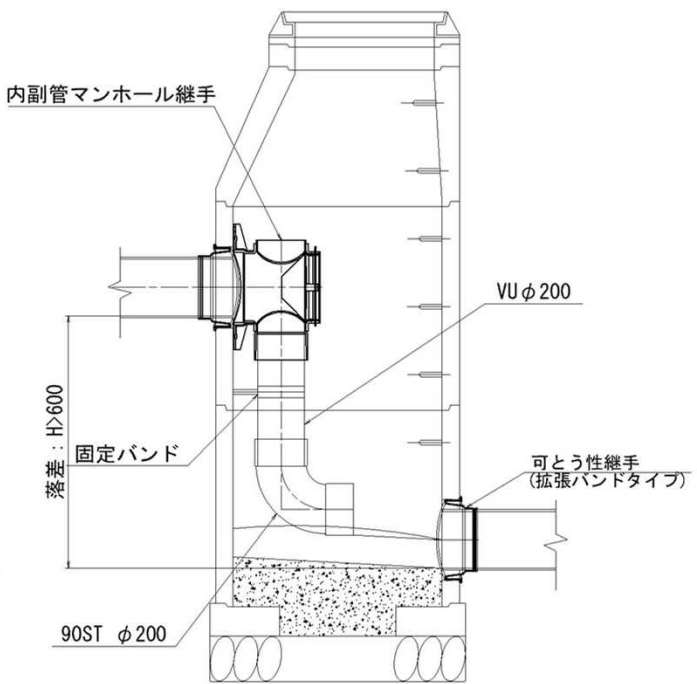
[illegible]

マンホール設置3m以下	6 箇所
マンホール設置3m超え4m以下	1 箇所
転落防止梯子(マンホール深H=2m以上)	5 個

1号組立マンホール底部工

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 内径 B m	流 出 管			流 入 管			インバート高					基礎材		基礎碎石	コンクリート	モルタル	【 算 式 】
			管種	管径 D 管底高 m	インバート高	径 d1～d3 m	管底高 m	落差 m	流出管	流入管3	流入管2	流入管1	平均	径	厚み	RC-40	σ ck=	1:2	
									h1 m	h2 m	h3 m	h4 m	h m	b m	t m		18N/mm2	t=2cm m2	
K060A	M7	0.90	VU	250 57.510	0.17				0.295				0.295	1.10	0.20	0.950	0.177	0.700	※インバート高 h1 =D/2+流出管インバート高 h2～4=落差+d _n /2+流出管インバート高 (落差≧0.15の場合は 落差=D/2 とする) (副管がある場合は、インバート高+0.05+d ₄ /2とする。)
K060A	M8	0.90	VU	250 56.830	0.17	0.25	56.850	0.020	0.295			0.315	0.305	1.10	0.20	0.950	0.172	0.765	
K060A	M9	0.90	VU	250 56.145	0.17	0.25 0.15	56.165 56.260	0.020 0.115	0.295		0.360	0.315	0.323	1.10	0.20	0.950	0.179	0.803	※コンクリート B ² × π/4×h －(d1 ² +d2 ² +d3 ² +D ²)× π ×B/16
K060A	M10	0.90	VU	250 53.782	0.17	0.25	55.200	1.418	0.295			0.220	0.258	1.10	0.20	0.950	0.142	0.765	
K061A-1	M11	0.90	VU	250 53.465	0.17	0.25 0.25	53.712 53.744	0.247 0.279	0.295		0.420	0.420	0.378	1.10	0.20	0.950	0.207	0.829	※モルタル上塗 B ² × π/4 －(d1+d2+d3+D)× B/2 ＋(d1+d2+d3+D)× π ×B/4
K061A-1	M12	0.90	VU	250 54.623	0.17	0.25	54.643	0.020	0.295			0.315	0.305	1.10	0.20	0.950	0.172	0.765	
K061A-1	M13	0.90	VU	250 53.776	0.17	0.25	54.103	0.327	0.295			0.420	0.358	1.10	0.20	0.950	0.206	0.765	※基礎碎石 b ² × π/4 ※流出管インバート高 (通常開削の場合は0.17m、推進の場合は都度)
	既M1	0.90	VU	250 54.672	0.17	0.25	54.692	0.020	0.295			0.315	0.305				0.172	0.765	
計																※ 6.650	1.427	6.157	※基礎碎石 体積 6.65×0.20×1.20(ロス率) V=1.60m3

副管取付工計算書

路線番号	K060A	名 称 ・ 規 格 計 算 式 単 位 数 量			
マンホール番号	M.10				
寸法図		副管高	H= 1.418 m	箇所	1
					
		【1箇所当り数量】			1箇所当り
		内副管用継手 φ250×200		個	1
		カラー継手 φ200		個	1
		塩ビ管 (PE) φ200	1.418 - 0.2 - 0.3	m	0.92
		90° 曲管 φ200		個	1
		固定バンド φ200用		個	2
		内幅管取付工 1.0m未満			
		〃 1.0m以上1.5m未満	副管高より = 1	箇所	1
		〃 1.5m以上2.0m未満			
		〃 2.0m以上2.5m未満			
		〃 2.5m以上3.0m未満			
		〃 3.0m以上3.5m未満			
		〃 3.5m以上4.0m未満			

小型塩ビ製マンホール 組合せ表

路線番号 移設K061A-1

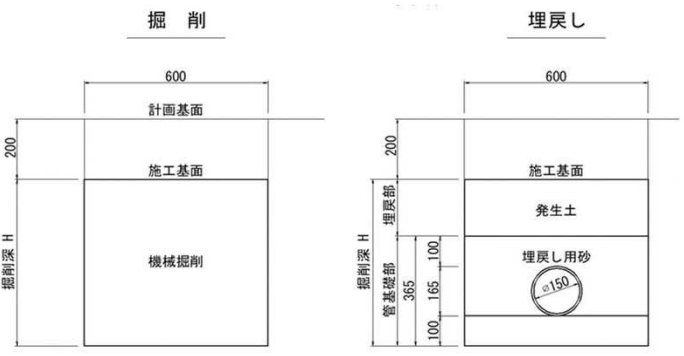
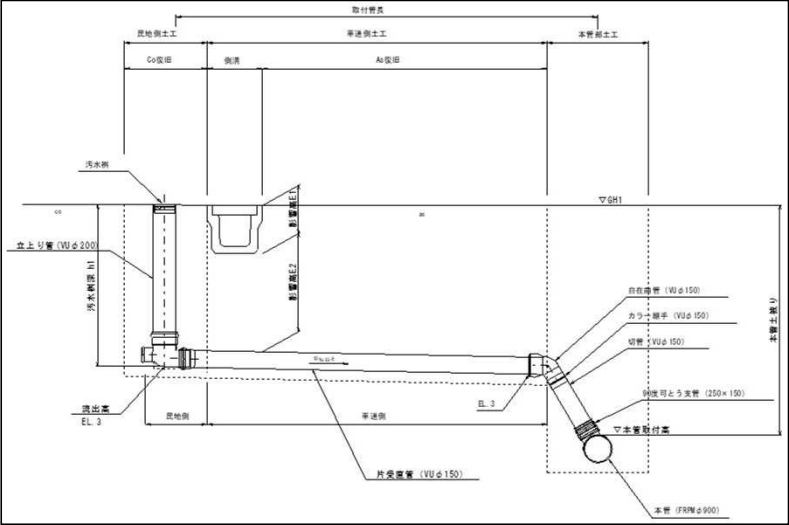
記号	地盤高	マンホール 深	流出管		流入管				立 管			インバート15L～90L																リブくら 型マンホール 継手	その他の インバート	鉄蓋		鋳 鉄 製 密 閉 蓋	塩ビ製 内蓋	砕石基礎	セメント	備 考
			管 種	径 mm	管 種	径	管底高	落差	削孔	管 種	径	必要直管 長さ H-(h+0.15)	起点	ストレート	15度曲り	30度曲り	45度曲り	60度曲り	75度曲り	90度曲り	落差型															
													h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.31m	h=0.6m	h=1.8m														
													左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	差口	差口												
マン ホール 番号	m	m	m		mm	m	mm	箇所		mm	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		
M14			VU	250	VU	250	53.764			VU	300	1.026																								
	55.25	1.486		53.764														1										1			1	0.246				

マンホール設置2m以下	1 箇所
マンホール設置3m以下	箇所
マンホール設置4m以下	箇所
転落防止梯子(マンホール深H=2m以上)	個

汚 水 枳 及 び 取 付 管 工

汚水桝及び取付管土工計算書

所 属 管 渠							掘 削 工												管基礎工	埋 戻 工		残土処分	土留め工		備 考		
路線番号	宅地番号	本管掘削 b (m)	取付管底掘削幅 b' (m)	取付延長 L (m)	道路内延長 L1 (m)	水路控除Ⅱ (m)	道路種別	表層厚 (m)	舗装全厚 (m)	掘削深 (m)	平均掘削幅 b2 (m)	掘削延長 (m)	掘削土量 (m³)	宅地内掘削深 (m)	平均掘削幅 b3 (m)	宅地内掘削延長 (m³)	宅地内掘削土量 (m³)	掘削全土量 (m³)		(m)	保護砂 (m³)		山砂 (m³)	(m³)		軽量鋼矢板	
																										H=2.00m 1.5<H≦1.8	H=3.00m 2.3<H≦2.8
K060A	⑧	0.95	0.60	3.00	2.30	0.63			0.20	0.86	0.60	1.20	0.62	1.00	0.60	0.70	0.42	1.04	2.53	0.50	0.38	1.04					
K060A	⑨	0.95	0.60	3.00	2.30	0.63			0.20	0.86	0.60	1.20	0.62	1.12	0.60	0.70	0.47	1.09	2.53	0.50	0.44	1.09					
K060A	⑩	0.95	0.60	2.70	2.00	0.63			0.20	0.86	0.60	0.90	0.46	1.27	0.60	0.70	0.53	0.99	2.23	0.44	0.58	0.99					
K060A	⑪	0.95	0.60	2.70	2.00	0.63			0.20	1.46	0.60	0.90	0.79	1.46	0.60	0.70	0.61	1.40	2.23	0.44	0.97	1.40					
K061A-1	⑫	0.95	0.60	2.30	1.60	0.50			0.20	0.71	0.60	0.63	0.27	0.82	0.60	0.70	0.34	0.61	1.83	0.36	0.36	0.61					
K061A-1	⑬	0.95	0.60	3.70	3.00	0.50			0.20	0.80	0.60	2.03	0.97	1.31	0.60	0.70	0.55	1.52	3.23	0.64	0.35	1.52					
K061A-1	⑭	0.95	0.60	15.50	14.80	0.50			0.20	0.78	0.60	13.83	6.47	1.31	0.60	0.70	0.55	7.02	15.03	2.97		7.02					
K061A-1	⑮	0.95	0.60	21.20	20.50	0.50			0.20	1.68	0.60	19.53	19.69	1.83	0.60	0.70	0.77	20.46	20.73	4.10		20.46	20.73				
K060A	⑯	0.95	0.60	5.30	4.60				0.20	2.43	0.60	4.13	6.02	2.55	0.60	0.70	1.07	7.09	4.83	0.95	1.43	7.09		4.83			
合 計																		41.22	55.17	10.90	4.51	41.22	20.73	4.83			



※掘削深1.5m以上の場合、建込簡易土留め構造図による。
埋設シートは、管頂+300mmの位置とする。

汚水枥及び取付管数量計算表

[illegible]

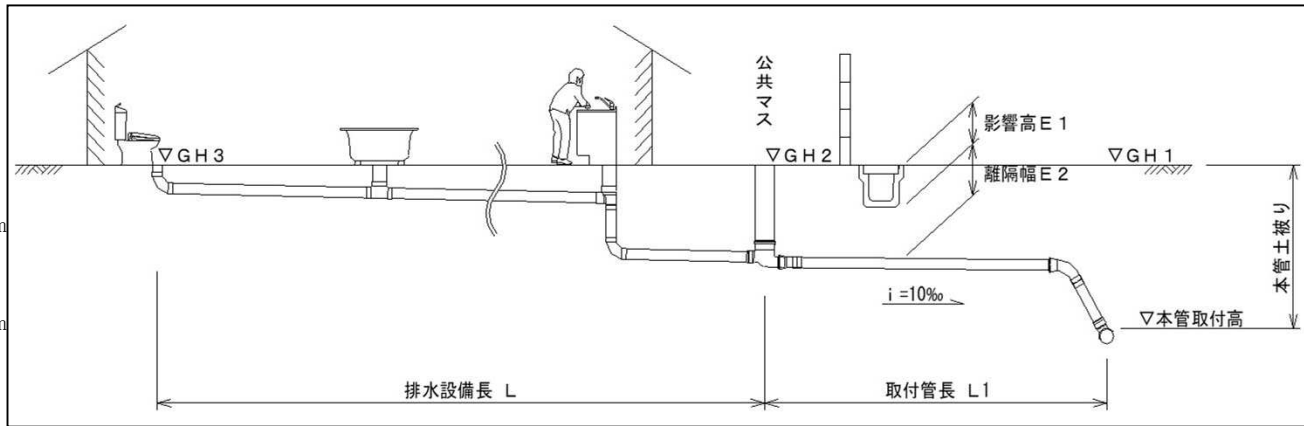
汚水枥設置検討書

計算条件 単位:m

起点土被り	A	0.20
排水管径	B	0.107
最小枥深	C	0.80
ますステップ	D	0.10
取付管径	E	0.158
取付管最小土被	F	0.60

管厚7mm

管厚8mm



汚水枥の流出高は、以下を比較し、最低値を採用する。

- ①宅地内条件による流出高
 $EL2-A=GH3-A-B-I \times L$
- ②最小枥深による流出高
 $EL2-B=GH2-C$
- ③道路敷設条件による流出高
 $EL2-C=GH1-E1-E2-E$
- ④取付管最小土被りによる流出高
 $EL2-D=GH1-F-E$

路線番号	ます番号	宅地側の検討									道路側の検討						汚水枥設置決定高さ		本管取付高	
		宅地高	土被り	管径	勾配	設備長	枥地盤高	流入高	流出高①	流出高②	道路高	影響高	離隔幅	管径	流出高③	流出高④	流出高	枥深	取付長	本管取付高
		GH3	A	B	‰	L	GH2	EL1	EL2-A	EL2-B	GH1	E1	E2	D	EL2-C	EL2-D	EL3	h1	L1	本管取付高
K060A	⑧	59.49	0.20	0.107	20	33	59.21	58.52	58.42	58.41	59.07	0.60	0.30	0.158	58.01	58.31	58.01	1.20	3.0	57.98
K060A	⑨	59.04	0.20	0.107	20	35	59.04	58.03	57.93	58.24	58.78	0.60	0.30	0.158	57.72	58.02	57.72	1.32	3.0	57.69
K060A	⑩	58.24	0.20	0.107	20	45	58.13	57.03	56.93	57.33	57.72	0.60	0.30	0.158	56.66	56.96	56.66	1.47	2.7	56.63
K060A	⑪	57.60	0.20	0.107	20	45	57.60	56.39	56.29	56.80	57.60	1.20	0.30	0.158	55.94	56.84	55.94	1.66	2.7	55.91
K061A-1	⑫	57.32	0.20	0.107	20	25	57.32	56.51	56.41	56.52	57.21	0.45	0.30	0.158	56.30	56.45	56.30	1.02	2.3	56.27
K061A-1	⑬	56.71	0.20	0.107	20	55	56.71	55.30	55.20	55.91	56.20	0.45	0.30	0.158	55.29	55.44	55.20	1.51	3.7	55.16
K061A-1	⑭	56.68	0.20	0.107	20	55	56.68	55.27	55.17	55.88	56.15	0.45	0.30	0.158	55.24	55.39	55.17	1.51	15.5	55.01
K061A-1	⑮	55.71	0.20	0.107	15	70	56.28	54.35	54.25	55.48	56.13	0.45	0.30	0.158	55.22	55.37	54.25	2.03	21.2	54.03
K060A	⑯	56.85	0.20	0.107	20	50	56.85	55.54	55.44	56.05	56.73	2.27	0.20	0.158	54.10	55.97	54.10	2.75	5.3	54.04
	9																	1.61	59.4	

工 帶 付

[illegible][illegible]

付帯工 数量計算書（1 / 4）

種別：既設VU管充填工

管渠充填延長：L= 255.7 m

測点：既設管路

細別／規格	算式	数 量
既設VU管 φ 250内空充填 管渠充填延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (VU φ 250) の算出表	255.7 m
既設管内充填工 エアモルタル充填	1m当り×全延長 0.05 × 255.69 = 	

付帯工 数量計算書（2 / 4）

種別：既設VU管撤去工

管渠撤去延長：L= 50.2 m

測点：既設管路

細別／規格	算 式	数 量
既設VU管 φ 250撤去		
管渠撤去延長	平均マンホール深および既設管路処理延長 (VU φ 250) の算出表	50.2 m
管路土工	1m当り×延長	
機械掘削	1.68×50.18	84.3 m ³
機械埋戻し(発生土)	1.27×50.18	63.7 m ³
土留工		
建込簡易土留 H=2.0m	20.93+13.3+15.95 K060A,K060A-1の 路線既設管撤去部	50.2 m
既設管撤去工		
VU管 φ 250撤去	VU管	50.2 m

付帯工 数量計算書 (3 / 4)

種別：マンホール処理工 作業土工

箇所数：N= 11.0 箇所

測点：既設管路

細別／規格	算 式	数 量
既設マンホール処理工	1号マンホール(φ 900)	
箇所数	平均マンホール深および既設管路処理延長 (VU φ 250) の算出表	11.0 箇所
作業土工 (タイプC)	1箇所当り×箇所	
機械掘削	6.8×11	74.8 m ³
機械埋戻(購入土)	5.7×11	62.7 m ³
土留工		
建込簡易土留 H=2.0m	2.3×11	25.3 m

付帯工 数量計算書（4 / 4）

種別： 既設マンホール撤去+充填工

基数： n= 11 基

測点： 既設M. 7～M. 16

細別／規格	算 式	数 量
1号マンホール処理(上部撤去) 基数	φ 900 平均高H=1.6m	7 基
1号マンホール処理(全撤去) 基数	φ 900	4 基
マンホール蓋・受枠H=110、T-14		11 組
鉄蓋運搬重量	単位重量0.094t/個 × 11	1.034 t
＜マンホール躯体/鉄筋コンクリート＞	既設撤去図(1)より	
調整リング φ 600	0.080 × 11	0.88 m3
斜壁 φ 600-900	0.310 × 11	3.41 m3
直壁 φ 900×300	0.150 × 2	0.30 m3
直壁 φ 900×600	0.300 × 6	1.80 m3
躯体壁 φ 900	0.324 × 9	2.92 m3
底版 φ 1600	0.500 × 4	2.00 m3
	計 11.31 m3	
構造物取壊し工(鉄筋コンクリート)		11.31 m3
殻運搬(鉄筋コンクリート)		11.31 m3
殻処分費	11.31×2.50	28.28 t
＜モルタル充填工/躯体ブロック内空部＞		
モルタル充填工	既設撤去図(1)より 0.21 + 0.18 + 0.43 + 0.24 + 0.23 + 0.53 + 0.32	2.14 m3

数 量 総 括 表

小口径推進工法 ϕ 300

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
管きょ工	(管径300mm)	小口径管推進工法 泥土圧式推進工法					
	高耐荷力推進工			式	1		
		推進用レジンコンクリート管	先頭管 L=1.0m/本	本	—		推進用レジンコンクリート管数量計算書
		〃	可とう管 L=1.0m/本	本	—		〃
		〃	標準管 L=1.0m/本	本	22		〃
		〃	最終管 L=1.0m/本	本	—		〃
		レジンコンクリート管推進工		m	18		〃
		滑材注入工		m	18		〃
		添加材注入工		m	18		〃
		発生土処理		式	1		〃
			発生土処分工	m3	1.8		〃
			発生土受入	m3	1.8		〃
	立坑内管布設工	レジンコンクリート管		式	1		〃
			レジンコンクリート管布設工	m	2.3		〃
	仮設備工	坑口工		式	1		仮設備工 数量計算書

数 量 総 括 表

工 事 名		令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要	
			発進用	箇所	1		仮設備工 数量計算書	
			到達用	箇所	1		〃	
		鏡切り工		式	1		〃	
			ライナープレート	m	7.4		〃	
			軽量鋼矢板	m	2.6		〃	
		推進用設備等設置撤去工						
			推進設備工	箇所	1		〃	
			推進設備据換工	箇所	—		〃	
立坑工	発進立坑	ライナー掘削土留工	BH0.45m3 礫質土	m	3.5		ライナプレート工数量計算書(1/2)	
		ライナープレート撤去工	φ 2000	m	1.5		〃	
		ライナープレート全損	φ 2000	m	2.5		〃	
		機械埋戻工	BH0.54m3 山砂	m3	7.8			
		残土処理		m3	12			
		基礎コンクリート	t=15cm σ k=18N/mm2	m3	0.5		ライナプレート工数量計算書(2/2)	
		基礎材	RC-40	m2	6.3		〃	
		〃	RC-40	m3	2.0		〃	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和8年度 国道325号污水幹線移設工事				事 業 区 分		
工 種	種 別	細 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数量 (当初)	数量 (変更)	適 要
		グラウト工		m3	2.0		〃
	到達立坑	軽量鋼矢板	1750×1750 H=3.5m	m	7		軽量矢板立坑工 数量計算書
		腹起し		m	3.5		〃
		切梁		m	3.5		〃
		基礎コンクリート	t=15cm σ k=18N/mm2	m3	0.5		〃
		基礎材	RC-40	m2	3.1		〃
	路面覆工	覆工板・覆工板受桁設置撤去工	A≤100m2	m2	9.0		〃
		覆工板賃料	補強型 鋼製すべり止め	m2	9.0		〃
		鋼材賃料	桁材	t	1.44		〃
		仮設材運搬	搬入・搬出	t	5.910		〃
		仮設材運搬	搬入・搬出	t	5.470		〃

管 ぎ よ 工 (φ 300mm)

高耐荷力方式泥土圧推進工法立坑内駆動方式

推進用レジンコンクリート管（高耐荷力方式 泥土圧推進工法 立坑内駆動方式）																
数 量 計 算 書																
管 渠 諸 元			RS φ 300mm													
路 線 番 号				K061A-2										単位	小 計	摘 要
立 坑 番 号			M.11													
種 別			片発進立坑		軽量鋼矢板立坑											
推 進 方 向			→													
人 孔 形 状			内径0.900 1号組立													
立 坑 形 状			外径2.000 φ 2000		外径1.800 1800×1800											
路 線 延 長				22.30										m	22.30	
管 渠 延 長				21.25										m	21.25	
推 進 延 長				18.00										m	18.00	
管布設延長				2.30										m	2.30	
空伏せ延長														m	0.00	
推進管本数	総 本 数 (管渠延長÷1.0)			22										本	22.00	
	1.0m/本	先頭管												本		
		推進用可とう管												本		
		標準管		22										本	22.00	
		最終管												本		
スクリューコンベア類撤去				18.00									m	18.00		
発生土処理				0.360 ² (管外径)×π/4＝ 1.84		0.102 m ³ /m							m ³	1.84		

仮設備工 数量計算書

種別： 仮設備工

延長：

測点： M. 11～M. 5

細別／規格	算 式				数 量
坑口工	呼び径 φ 300mm 発進用				N= 1.0 箇所
	呼び径 φ 300mm 到達用				N= 1.0 箇所
鏡切工	ライナープレート				t=2.7mm
	φ 300	2.6 m/箇所	×	1 箇所 =	2.60 m
	φ 250	2.4 m/箇所	×	2 箇所 =	4.80 m
	↑ 下水道用設計標準歩掛表より				合計=
					7.40 m
	軽量鋼矢板Ⅱ型				
	φ 300	2.6 m/箇所	×	1 箇所 =	2.60 m
推進設備等設置撤去					
推進設備設置撤去工					1.0 箇所
推進設備据換工					箇所

立

坑

工

ライナープレート工 数量計算書（１／２）

種別： 円形ライナープレート ϕ 2000, t=2.7mm

測点： M.11

細別／規格	算 式	数 量
ライナープレート設置高	t=2.7mm	3.50 m
		768.7 kg
ライナープレート撤去高	t=2.7mm	1.50 m
		329.4 kg
ライナー掘削土留工 ϕ 2000	礫質土	3.50 m
掘削土量	機械掘削	
	$\pi / 4 \times (2.0+0.18/1.0)^2 \times 3.343$	= 12.5 m3
ライナープレート撤去工 ϕ 2000	重量 0.335t/m $\times$ 1.00=0.335t	1.0 m
ライナープレート全損 ϕ 2000		2.5 m
グラウト工	$0.09 \times \pi \times (2.0+0.09) \times 3.343$	2.0 m3
機械埋戻(山砂)	12.5 - 4.7	= 7.8 m3
差引量		
RS ϕ 300	$0.36^2 \times \pi \div 4 \times 0.475$	= 0.05 m3
VU ϕ 250	$0.265^2 \times \pi \div 4 \times 0.475 \times 2$	= 0.05 m3
基礎Co・基礎碎石	$2.0^2 \times \pi \div 4 \times 0.785$	= 2.47 m3
底版	$1.1^2 \times \pi \div 4 \times 0.13$	= 0.12 m3
躯体壁・直壁	$1.05^2 \times \pi \div 4 \times 1.80$	= 1.56 m3
斜壁	$(1.05^2 \times \pi \div 4 + 0.82^2 \times \pi \div 4) \div 2 \times 0.60$	= 0.42 m3
リング、鉄蓋	$0.82^2 \times \pi \div 4 \times 0.028$	= 0.01 m3
	計	4.7 m3
残土処理		12.5 m3

ライナープレート工 数量計算書 (2/2)

種別： 円形ライナープレート ϕ 2000, t=2.7mm

測点： M.11

細別／規格	算 式	数 量
基礎コンクリート(18-8-40) t=15cm	$2.0^2 \times \pi \div 4 \times 0.15$ =	0.47 m3
基礎材(RC-40)、t=200mm	$2.0^2 \times \pi \div 4$ =	3.14 m2
	3.14×0.200 =	0.63 m3
基礎材(RC-40)、t=435mm	$2.0^2 \times \pi \div 4$ =	3.14 m2
	3.14×0.435 =	1.37 m3
	計	6.3 m2
	計	2.0 m3
注入設備工		
グラウトポンプ	横型2連複動、吐出量37～100ℓ/min 7.8kw	1.0 台
グラウトミキサ	上下2槽式 200ℓ×2 2.2kw	1.0 台
グラウトホース	ϕ 38×20m物継手付 4本	4.0 本
注入ノズル、ニップル、バルブ	2B	1.0 式
ライナープレート	SP-10 2.7×500×1570 単位重量 W=26.0kg 26.0×4×7 728.0kg	768.7 kg
組立ボルト	M16×30(4.6,LP用) 単位重量 W=0.121kg 0.121kg×14個/枚×4分割×6 40.7kg	
	合計 768.7kg	

工 事 日 数 の 算 定

・ 測 点 : 発進立坑

・ 形状寸法 : ライナープレート式立坑 円形φ2000

※不稼働係数= 1.77

・形状寸法：ライナープレート式立坑 円形φ2000

※不稼働係数= 1.77

[illegible]

軽量矢板立坑工 数量計算書

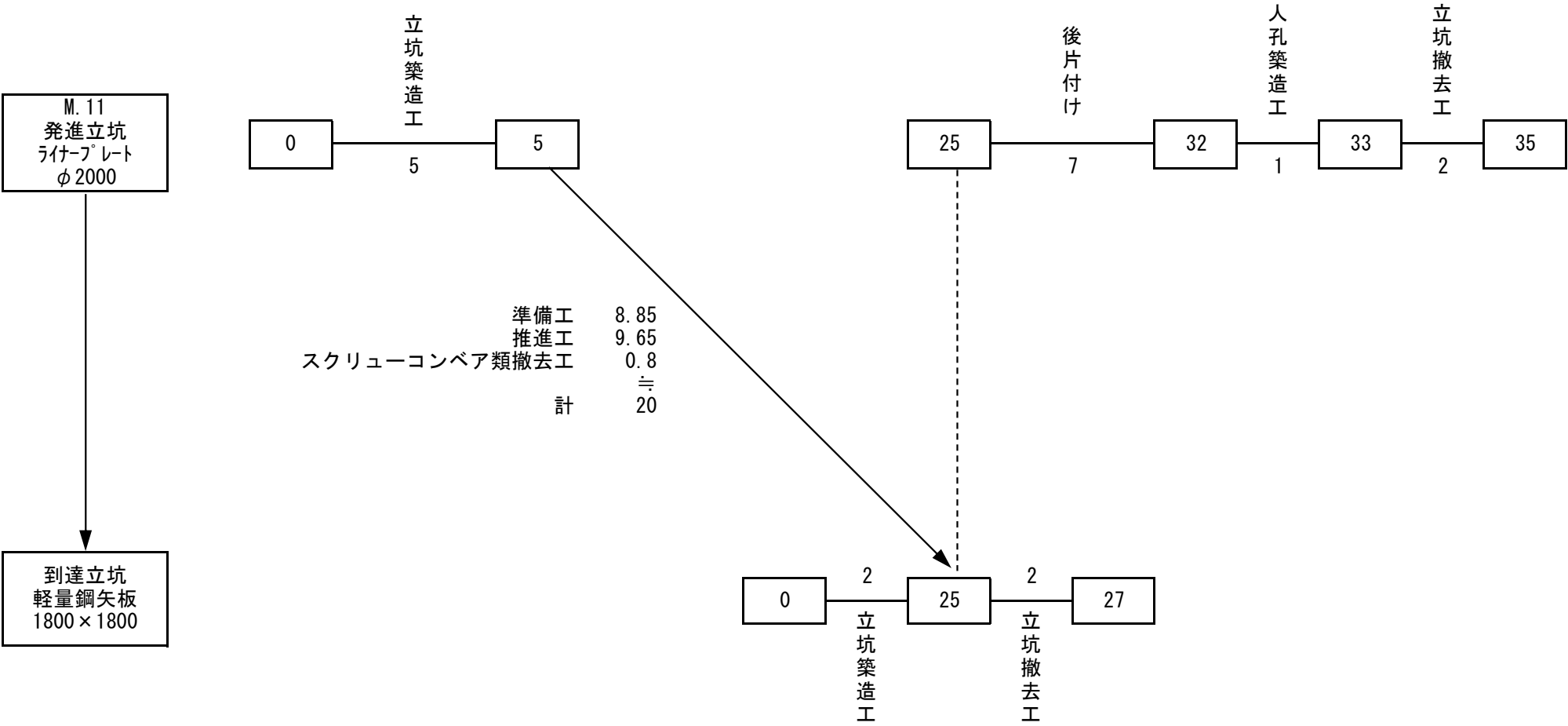
種別： 軽量矢板立坑

1800×1800

測点： 到達立坑

細別／規格	算 式	数 量
軽量鋼矢板	H=3.5 $(1.75+1.75) \times 2$ 重量 $3.5 \times 3.5 \times 2 \times 0.0592\text{t/m}^2 = 1.450\text{t}$	7.00 m
軽量金属腹起し	1.75×2	3.50 m
軽量金属切梁	1.75×2	3.50 m
機械掘削		15.15 m3
覆工部機械掘削	$3.16 \times 3.16 \times 0.75 = 7.49$	
立坑部機械掘削	$1.75 \times 1.75 \times 2.50 = 7.66$	
	計 15.15	
機械埋戻し	$15.15 - 1.25 =$	13.9 m3
差引量		
RS φ 300	$0.36^2 \times \pi \div 4 \times 1.75 = 0.18$	
基礎Co・基礎碎石	$1.75 \times 1.75 \times 0.35 = 1.07$	
	計 1.25	
基礎コンクリート(18-8-40) t=15cm	$1.75 \times 1.75 \times 0.15 =$	0.50 m3
基礎材(RC-40)、t=200mm	$1.75 \times 1.75 =$	3.10 m2
	$1.75 \times 1.75 \times 0.20 =$	0.60 m3
路面覆工		
覆工板・覆工板受桁設置撤去工	$3.0 \times 3.0 =$ 覆工板重量 $9.0\text{m} \times 0.25\text{t/m}^2 = 2.250$ 受桁重量 H-300 $3.16\text{m} \times 2\text{本} \times 0.10\text{t/m} = 0.632$ 桁受重量 H-250 $3.16\text{m} \times 2\text{本} \times 0.08\text{t/m} = 0.506$ ずれ止め重量 [-250 $3.16\text{m} \times 2\text{本} \times 0.0246\text{t/m} = 0.155$ ずれ止め重量 [-250 $3.0\text{m} \times 2\text{本} \times 0.0246\text{t/m} = 0.148$ 桁材合計= 1.441	9.0 m2
覆工板賃料		9.0 m2
仮設材運搬 搬入	ライナープレート+軽量鋼矢板+覆工板+覆工板桁材 $0.769+1.450+2.250+1.441 = 5.910$	5.910 t
仮設材運搬 搬出	ライナープレート+軽量鋼矢板+覆工板+覆工板桁材 $0.329+1.450+2.250+1.441 = 5.470$	5.470 t

推 進 工 程 表



軽量鋼矢板2型 供用日数・使用重量の算定

工 種	規格・寸法 ①	使用延長 ② (m)	スパン当り 延 長 ③ (m)	スパン当り 使用数量 ①×③×2=④ (m2)	転用回数 ②÷③=⑤	スパン当り 供用日数 ⑥ (日)	供用日数 ⑤×⑥ (日)	仮設材運搬重量		備 考
								単位重量 ⑦ (t/m2)	重量 ④×⑦ (t)	
素掘り	—			—			≡			
軽量鋼矢板2型	1段支保 H= 2.0 m						≡	0.0592		
"	1段支保 H= 2.5 m						≡	0.0592		
"	2段支保 H= 2.5 m						≡	0.0592		
"	2段支保 H= 3.0 m						≡	0.0592		
"	2段支保 H= 3.5 m	3.50	3.50	25	1.0	4.00	4.0 ≡ 4	0.0592	1.450	
"	2段支保 H= 4.0 m						≡	0.0592		
"	3段支保 H= 4.0 m						≡	0.0592		
							4		1.450	
開削水替工	素掘り									
"	1段支保 H= 2.0 m									
"	1段支保 H= 2.5 m									
"	2段支保 H= 2.5 m									
"	2段支保 H= 3.0 m									
"	2段支保 H= 3.5 m									
"	2段支保 H= 4.0 m									
"	3段支保 H= 4.0 m									
						計				

交通整理員の算定

	供用日数	不稼働係数	実日数
実日数	÷	1.4	= 日
交通整理人	実日数	配置人数	
	×	2	= 人

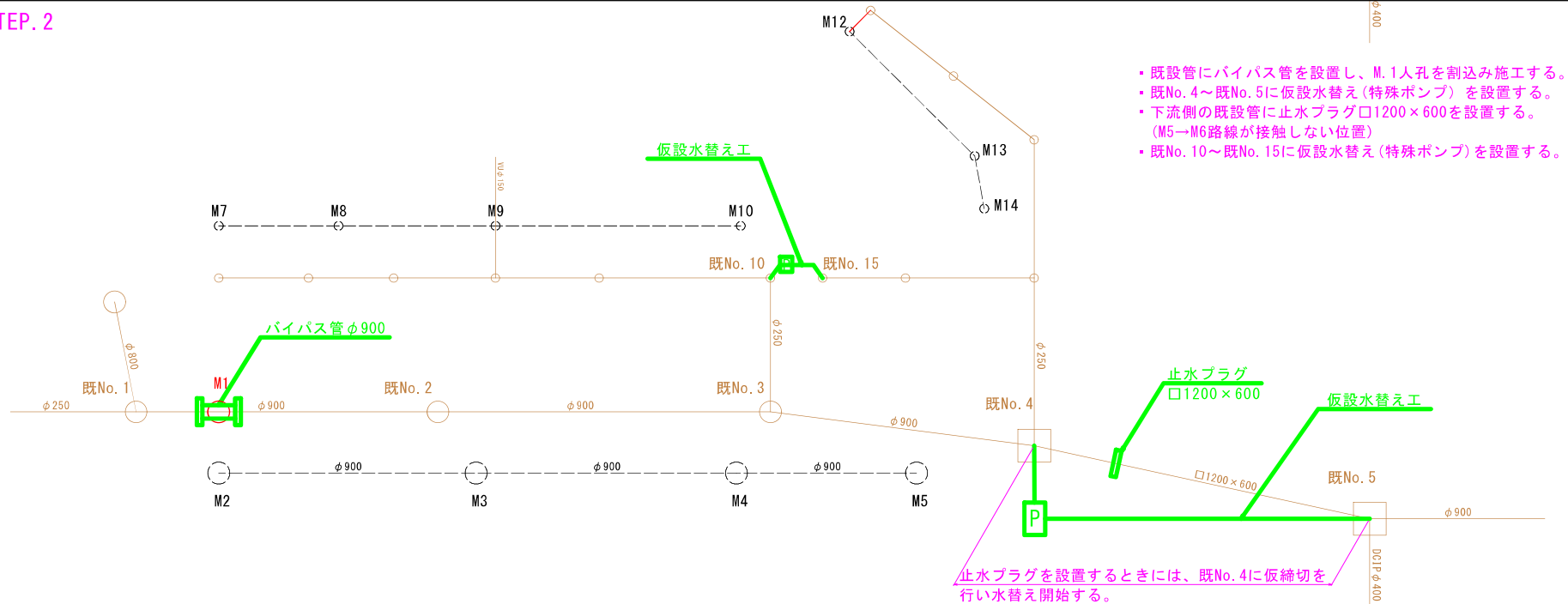
仮設鋼材賃料算定表

[illegible]

供用日数・使用重量の算定

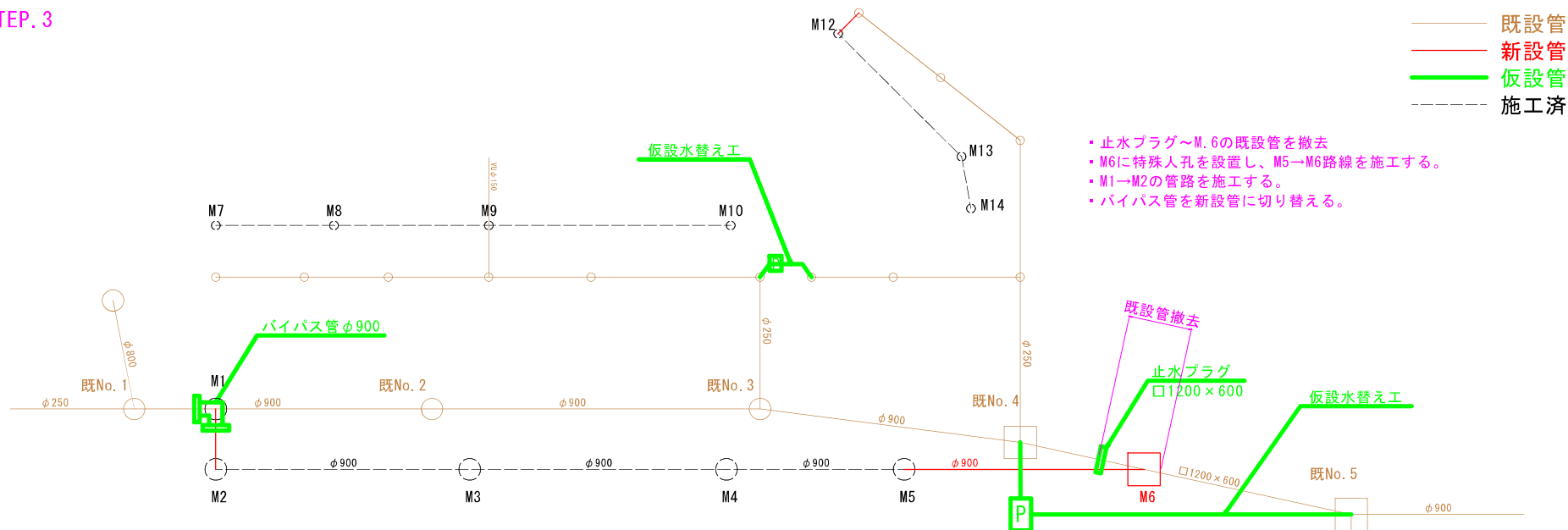
工 種	規格・寸法 ①	使用延長 ② (m)	スパン当り 延 長 ③ (m)	スパン当り 使用数量 ①×③×2=④ (m2)	転用回数 ②÷③=⑤	スパン当り 供用日数 ⑥ (日)	供用日数 ⑤×⑥ (日)	仮設材運搬重量		備 考
								単位重量 ⑦ (t/m2)	重量 ④×⑦ (t)	
素掘り	—			—			≒			
簡易土留	H= 2.0 m	245.60	30.00	120	8.9		≒ 37	0.100		
〃	H= 2.5 m	101.70	30.00	150	3.3		≒ 23	0.097		
〃	H= 3.0 m	190.55	30.00	180	6.3		≒ 61	0.102		
〃	H= 3.5 m	117.70	30.00	210	3.9		≒ 46	0.109	23.000	
〃	H= 4.0 m	6.80	6.80	54	1.0		≒ 3	0.136	5.549	
〃	H= 4.5 m						≒	0.142		
						計	170		28.549	
開削水替工	素掘り									
〃	H= 2.0 m									
〃	H= 2.5 m									
〃	H= 3.0 m									
〃	H= 3.5 m									
〃	H= 4.0 m									
						計				
				※建込簡易土留の運搬は、下記の通りとする。						
					1.H=1.5～3.5mまでの最大の型式分1セット 2.H=4.0～5.0mまでの最大の型式分1セット					

STEP. 1

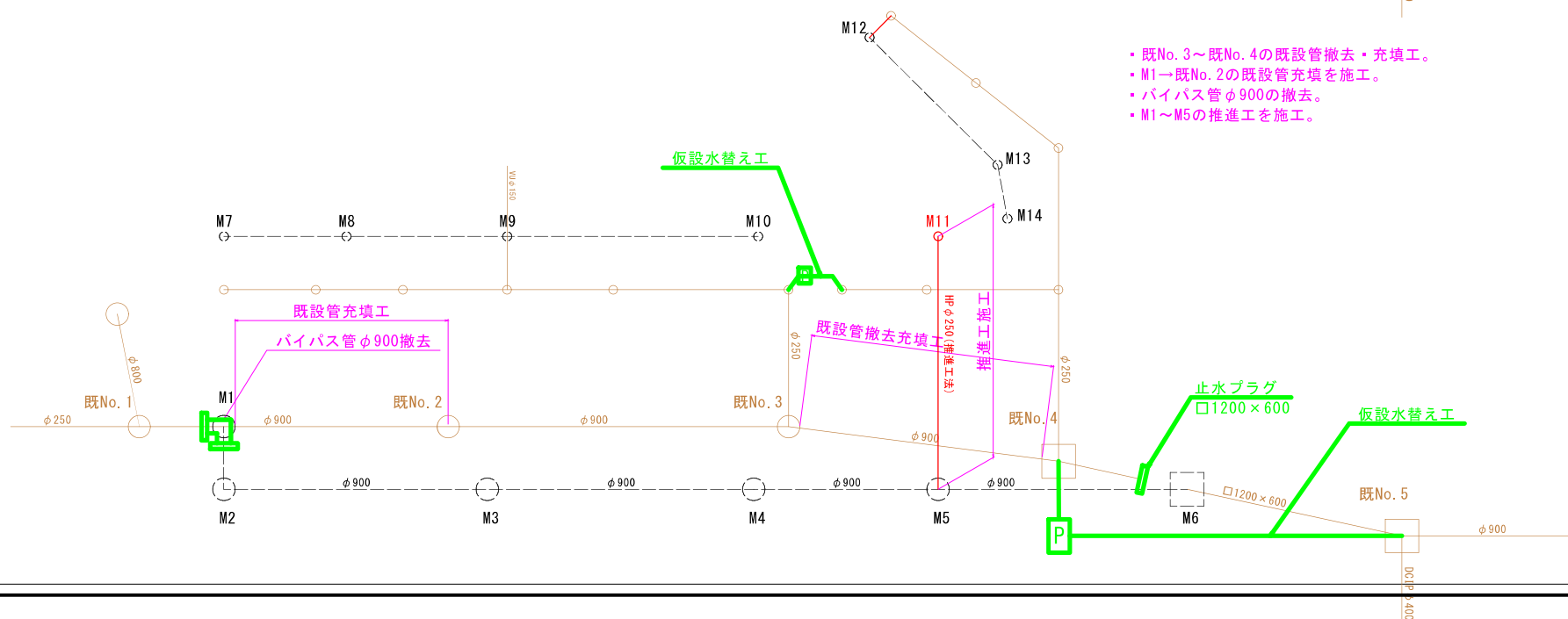


計画汚水量 $Q=0.1167\text{m}^3/\text{sec}\rightarrow 7.002\text{m}^3/\text{min}$

STEP. 3

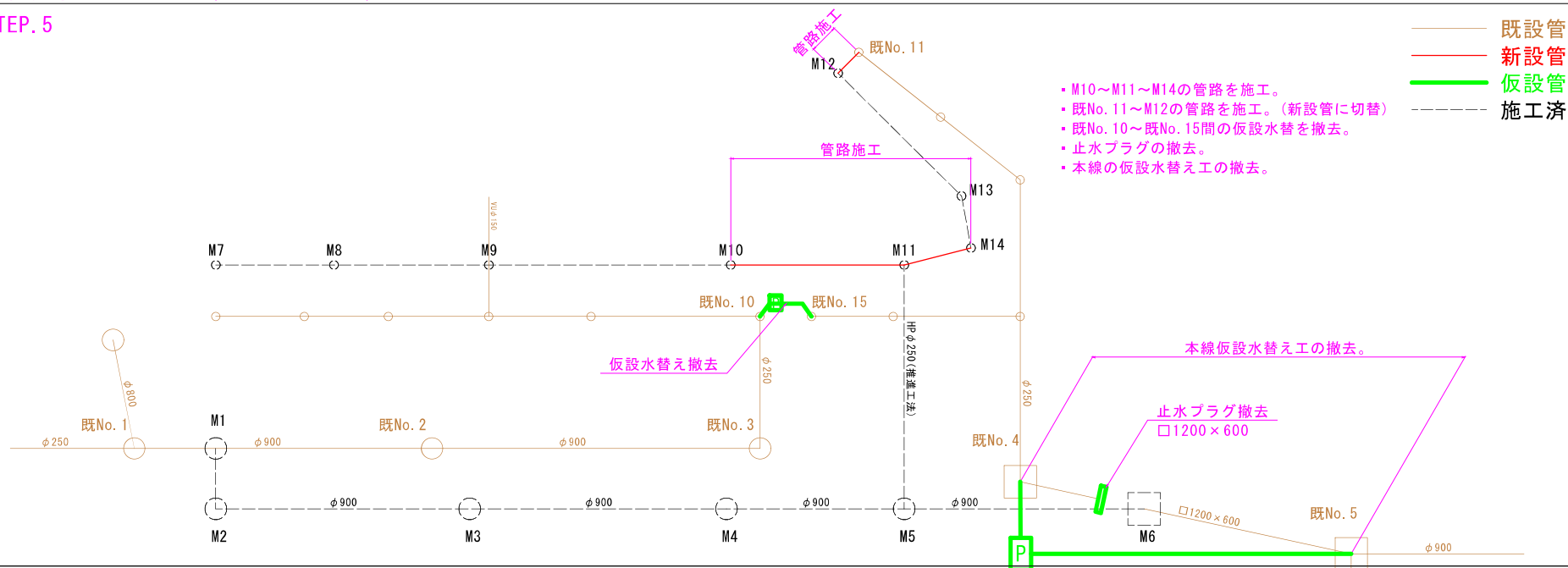


STEP. 4



計画汚水量 $Q=0.1167\text{m}^3/\text{sec}\rightarrow 7.002\text{m}^3/\text{min}$

STEP. 5



STEP. 6

